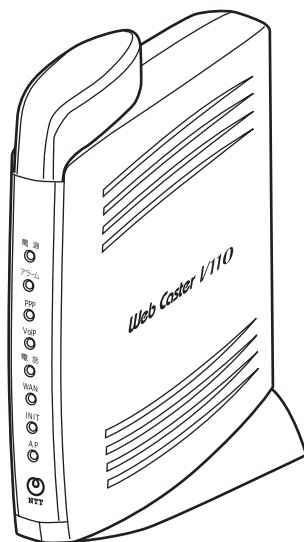


Web Caster V110

取扱説明書

このたびは、Web Caster V110をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店で求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

厳守事項

■ IDとパスワードの取り扱いについて

ユーザーIDとパスワードはお客様の大切な個人情報です。入力には必ずお客様自身で行ってください。

■ 取扱説明書の内容について

機能追加などにより本書の内容は予告なく変更されることがあります。機能追加や変更などに関するサポート情報につきましては、以下のホームページの更新情報を定期的に閲覧していただくことをお勧めします。

当社ホームページ： <http://www.web116.jp/ced/>
： <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

ご使用にあたってのお願い

本商品のご利用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となった場合は、局番なしの116番または当社の営業所等にご連絡いただければ、「機器使用料」は不要となります。

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品のTELポートは、加入電話の仕様と完全には一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万が一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

記載しているWebブラウザなどの画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますので詳細は実機にてご確認ください。

また、機能向上のためWebブラウザなどの画面は予告なく変更される場合があります。

Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。

Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。

Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。

Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Professional operating systemの略です。

Windows Vista® は、Microsoft Windows Vista® Home Basic operating system、Microsoft Windows Vista® Home Premium operating system、Microsoft Windows Vista® Business operating systemおよびMicrosoft Windows Vista® Ultimate operating systemの各日本語版かつ32ビット（x86）版の略です。

Microsoft、Windows、Windows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Adobe、Adobeロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Internet Explorerは、Microsoft® Internet Explorer® およびWindows® Internet Explorer® の略です。

Mac OSは米国Apple Inc.の登録商標または商標です。

画面の使用に際して米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいがする、異常音がするなど異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源アダプタを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認して、当社のサービス取扱所にて修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに本商品の電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
- 万一、内部に水などが入ったり、本商品をぬらした場合は、すぐに本商品の電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本商品を分解、改造したりしないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。指定以外の内部の点検、調整、清掃、修理は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- 本商品のそばに花瓶、コップ、化粧品、薬用品など液体の入った容器や植木鉢、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタ等を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電の原因となります。
- 医療用電気機器の近くに設置したり、近づけないでください。
本商品からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。
- 自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しないでください。
本商品から電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。
- 心臓ペースメーカーの装着部位から30 cm以上離してください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を与える場合があります。

警告

- 電源アダプタコードに傷を付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源アダプタコードが破損し、火災、感電の原因となることがあります。電源アダプタコードが傷んだら、本商品の電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 電源アダプタコードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- めれた手で本商品进行操作しないでください。感電の原因となることがあります。
- めれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- お客様がご用意された機器を本商品に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続して使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品を移動させる場合は、電源アダプタを電源コンセントから抜き、電話機コードを差込口から抜いて、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷付き、火災、感電の原因となることがあります。
- 万一、漏電した場合の感電事故防止や、誘雷による感電防止、機器保護のため、必ずアース線を取り付けてください。また、アース線をガス管に接続しないでください。爆発の原因となることがあります。
- 電源アダプタを電源コンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。電源アダプタの刃に金属などが触れると、火災、感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源アダプタコードを引っ張るとコードが傷付き、火災、感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。ほこりにより火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お使いになる前に（設置環境）

注意

- 直射日光の当たる所や、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高い所に置かないでください。内部の温度が上がリ、火災の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所、鉄粉や有毒ガスが発生する場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 振動、衝撃の多い場所に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品を横置きや重ね置きしないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災、感電の原因となることがあります。
- 底面にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

お使用のとき

注意

- 近くに雷が発生したときは、電源アダプタを電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品や電源アダプタを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の近くに、紙などの燃えやすいものを置かないでください。発熱により火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと本商品の内部に熱がこもり、火災、故障の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。
 - ・ じゅうたんや布団の上に置く。
 - ・ テーブルクロスなどを掛ける。
 - ・ 本棚、タンスの中、押入の中など風通しの悪い場所に置く。
 - ・ 紙、本などを載せたり立て掛けたりする。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。
- 電源コードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。
- お手入れをするときは、安全のため必ず本商品の電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。
- 半年に1回程度、電源アダプタと電源コンセント間のほこりを、取り除いてください。ほこりにより、火災、感電の原因となることがあります。ほこりを取り除くときは、安全のため必ず本商品の電源アダプタを電源コンセントから抜いて行ってください。
- 本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 本商品の故障や回線品質の低下によって、データ消失が発生するおそれがあります。あらかじめ冗長性のあるシステム設計、バックアップなど構成してください。
- 電源アダプタの接続は、必ず本商品側のコネクタを接続してから電源コンセントに差し込んでください。場合によっては、故障の原因となります。
- 機器やケーブルは水で濡らさないように気をつけてください。場合によっては、火災・感電・故障の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

取り扱いについて

お願い

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤を付けた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

置き場所について

お願い

- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 電気製品、A・V・O・A機器などの磁気を帯びている所や電磁波が発生している所に置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクス、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音等が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・ 放送局や無線局などが近く、雑音等が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

お使いのとき

お願い

- 電源を再投入する場合、電源を切った状態から5秒以上経った後、電源の再投入を行ってください。故障の原因となることがあります。
- 本商品プラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。プラスチック部品の製作過程で生じることがあるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

CD-ROMの取扱上・保管上の注意

1. ディスクは両面共、指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱ってください。
2. ディスクが汚れたときは、メガネ拭きのような柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽くふき取ってください。レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないでください。
3. ディスクは両面共、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いたり、シールなどを貼付しないでください。
4. ひび割れや変形、また接着剤等で補修したディスクは危険ですから絶対に使用しないでください。
5. 直射日光のあたる場所や、高温・多湿の場所には放置しないでください。
6. ディスクは使用後、元のケースに入れて保管してください。

CD-ROMの著作権、免責事項について

1. 添付CD-ROMに収録されたソフトウェア、およびデータは、著作権法によって保護されています。それぞれの著作者および著作権は、各プログラムまたは付属のドキュメントに記載されている通りです。
2. 添付CD-ROMは、無償でご利用になれます。また、友人など営利を目的としない間柄での再配布は原則自由です。ただし、その場合でも著作権免責事項の規定は、配布の相手方に対しても効力を有するものとします。
3. 添付CD-ROMの内容を転載、雑誌などに添付して再配布する場合は、東日本電信電話株式会社、または西日本電信電話株式会社（以下、当社といいます）の許諾を必要とします。
4. 収録されたソフトウェアは、当社にて動作確認を行っていますが、全ての状況下においての動作を保証しているわけではありません。当社は、添付CD-ROMに関しては、一切動作保証は致しません。
5. 当社は、添付CD-ROMによりご利用者に直接または間接的損害が生じて、いかなる責任も負わないものとし、一切の賠償などは行わないものとします。
6. 当社は、添付CD-ROMに不備があっても、訂正する義務は負わないものとします。
7. 添付CD-ROMの記載事項は、ご利用者への事前連絡なく仕様を変更したり、サービスの提供を中止する場合があります。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
目次	10
マニュアル構成／マニュアルの見かた	14
マニュアル構成	14
マニュアルの見かた	14
電子マニュアルの見かた	15
詳細取扱説明書 概要	16
Web Caster V110でできること	17
Web Caster V110とは	17
特長	17
ご利用前の注意事項	18
電話機能に関するご注意	18
電波に関するご注意	
(Web Caster FT-STC-Va/g 装着時にお読みください)	21
無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意	
(Web Caster FT-STC-Va/g 装着時にお読みください)	22
お客様情報に関するご注意	22

1 最初に確認しましょう

セットを確認してください	1-2
各部の名前	1-3
セットアップする	1-5

2 本商品の接続とパソコンの設定

回線を接続する	2-2
フレッツ・ADSLに接続する	2-2
Bフレッツ（マンションタイプVDSL方式）に接続する	2-4
Bフレッツ（マンションタイプVDSL方式以外）に接続する	2-6
電源を入れる（LEDランプの確認）	2-8
本商品の電源を入れる	2-8
パソコンの電源を入れる	2-8
設定の流れ	2-9
パソコンを設定する（Windows Vista®の場合）	2-10
インターネットプロパティとネットワークの設定	2-10
ネットワークの設定を確認する	2-13
Webブラウザの設定	2-14

3 本商品の設定方法

かんたん設定	3-2
インターネット接続の確認	3-15
OS共通	3-15
IP電話の設定	3-16
時刻の設定について	3-17

4 電話の使いかた

電話をかけるには（発信）	4-2
電話をかける（発信）	4-2
相手がお話し中のとき	4-2
電話を受けるには（着信）	4-3
電話を受ける（着信）	4-3
回線選択について／緊急通報	4-4
電話番号による回線選択	4-4
加入電話回線を選択して発信するには	4-4
緊急通報（110／118／119）発信時の留意事項	4-4
お話し中にかかってきた電話を受けるには	4-5
お話し中にかかってきた電話に出る	4-5
発信者番号の通知と表示	4-7
かけてきた相手の電話番号を表示するには（ナンバー・ディスプレイ）	4-8

5 バージョンアップ

本商品のバージョンアップ	5-2
バージョンアップ機能	5-2
自動バージョンアップ機能を利用してバージョンアップする	5-3
ファームウェアの自動バージョンアップ	5-3
バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする	5-6
バージョンアップお知らせ機能とは	5-6
バージョンアップお知らせ機能を利用するには	5-7
バージョンアップお知らせ方法	5-8
バージョンアップ方法	5-10
当社ホームページからファームウェアをダウンロードして	
バージョンアップする	5-15
ファームウェアのダウンロード方法	5-15
バージョンアップ方法	5-16

目次

6 無線LANを利用する

LANケーブルを使用した設定	6-2
本商品とパソコンの設定	6-3
①本商品とパソコンを接続する	6-3
②本商品に無線LANカードを装着する	6-4
③本商品に暗号化を設定する	6-5
④ANY接続許可に変更する	6-9
⑤パソコンに無線LANカードのドライバをインストールする	6-11
⑥インストールの状態を確認する	6-15
⑦パソコンからアクセスポイント（本商品）へ通信する （インフラストラクチャ・モード）	6-18
⑧無線LANカードに暗号化を設定する	6-23
⑨ANY接続拒否に変更する	6-26
⑩無線LAN接続を確認する	6-26
⑪必要に応じて本商品と無線LANカードの設定を変更する	6-27
⑫無線LAN設定を終了する	6-27
LANケーブルを使用しない設定	6-28

7 お困りのときには

トラブルや疑問点がある場合	7-2
設定に関するトラブル	7-2
通話／ダイヤルに関するトラブル	7-3
パソコンに関するトラブル	7-4
無線LANに関するトラブル	7-5
バージョンアップに関するトラブル	7-6
その他のトラブル	7-7

8 付録

パソコンのネットワーク設定	8-2
インターネットプロパティの設定 （Windows® 98/Me/2000共通の設定）	8-2
ネットワークの設定（Windows® 98/Meの場合）	8-4
ネットワークの設定を確認する（Windows® 98/Meの場合）	8-8
ネットワークの設定（Windows® 2000の場合）	8-10
ネットワークの設定を確認する（Windows® 2000の場合）	8-14

インターネットプロパティの設定 (Windows® XPの場合)	8-16
ネットワークの設定 (Windows® XPの場合)	8-18
ネットワークの設定を確認する (Windows® XPの場合)	8-22
ネットワークの設定 (Mac OS 9.04以降の場合)	8-24
ネットワークの設定を確認する (Mac OS 9.04以降の場合)	8-28
ネットワークの設定 (Mac OS Xの場合)	8-30
ネットワークの設定を確認する (Mac OS Xの場合)	8-35
仕様	8-37
各種サービスについて	8-38
NTTネットワークサービスへの対応について	8-38
加入電話回線を選択する電話番号	8-40
本商品の初期化について	8-41
Webブラウザによる初期化	8-41
RESETスイッチによる初期化	8-41
ASCIIコード表	8-42
索引	8-43
お買い上げ商品の保証および保守サービスのご案内	8-45

マニュアル構成／マニュアルの見かた

本商品のマニュアル構成とマニュアルの見かたについて説明します。付属の「Web Caster V110専用CD-ROM」に収録されている「まるごと設定ツール」の使用方法については、本商品と同梱されているマニュアル「Web Caster V110まるごと設定ツールの使いかた」をご覧ください。

マニュアル構成

本商品の取扱説明書は下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

取扱説明書（本書）

Web Caster V110の基本機能についての説明書です。

詳細取扱説明書（CD-ROM：PDFファイル）

本書には記載されていない、Web Caster V110の、より詳細な機能について解説しています。

※CD-ROMの操作方法について（●本書P15「電子マニュアルの見かた」）

マニュアルの見かた

本書は下記のように構成されています。

1 最初に確認しましょう

最初にならず確認していただきたいことについて説明しています。

2 本商品の接続とパソコンの設定

本商品とパソコンを接続して、インターネットに接続するまでを説明しています。

3 本商品の設定方法

本商品と接続したパソコンからのインターネットのご利用またはIP電話をご利用するためには、本商品に設定が必要です。ここでは設定手順について説明しています。

4 電話の使いかた

本商品と接続した電話機の使用方法について説明しています。

5 バージョンアップ

本商品を最新の状態にバージョンアップする方法について説明しています。

6 無線LANを利用する

本商品を無線LANのアクセスポイントとして利用する場合の設定について説明しています。

7 お困りのときには

本商品がうまく動かない、操作しても違う結果になるなど、お困りのときにお読みください。

8 付録

本商品の設定を行うパソコンのOSがWindows Vista®以外の場合のパソコンのネットワーク設定手順について説明しています。また、付録として本商品の初期化方法、本商品の仕様、本商品の保障・保守サービスの案内などについても記載しています。



お知らせ

- IP電話をご利用になる際には、お客様がご契約されているプロバイダ（ISP）から提供されたマニュアルを参照してください。

電子マニュアルの見かた

本商品の、より詳細な機能については、付属の「Web Caster V110専用CD-ROM」に収録されている電子マニュアル「詳細取扱説明書」をご覧ください。

●Windows® の場合

- 1 パソコンを起動し、添付のCD-ROM「Web Caster V110専用CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする

メニュー画面が表示されます。

- 2 「詳細取扱説明書」をクリックする

●Mac OSの場合

- 1 CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、CD-ROMのアイコンがデスクトップに表示されたら、そのアイコンをダブルクリックする

CD-ROMの内容が表示されます。

- 2 「MANUAL」をダブルクリックする

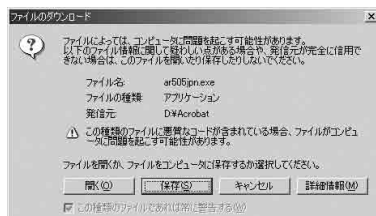
- 3 「詳細取扱説明書」をダブルクリックする



お知らせ

- Adobe Readerをインストールされていない方、詳細取扱説明書の内容が正常に表示できない方はメニュー画面の「Adobe Readerのインストール」をクリックして、インストールしてください。
- CD-ROMをドライブにセットしてもメニュー画面が表示されない場合は[スタート]-[コンピュータ]をクリック(Windows®XPをお使いの場合は、[スタート]-[マイコンピュータ]をクリック、Windows®2000をお使いの場合は、デスクトップ上にある[マイコンピュータ]をダブルクリック)して、[V110(CD-ROM)]のアイコンをダブルクリックしてください。CD-ROMの内容が表示されますので「V110.exe」をダブルクリックするとメニュー画面が表示されます。
- メニュー画面の「Adobe Readerのインストール」をクリックすると以下のような確認メッセージが表示される場合がありますが、「開く」または「保存」をクリックしてインストールを継続してください。「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「続行」をクリックしてインストールを継続してください。

※パソコンの設定によって下記と異なる確認メッセージを表示する場合があります。



※OSによって画面表示が異なる場合があります。

マニュアル構成／マニュアルの見かた

詳細取扱説明書 概要

詳細取扱説明書に記載されている項目は以下のとおりです。

1 こんなときにはこの設定

本商品のサービス機能を使うときの設定方法について説明します。

(音声/ビデオチャット等のソフトを利用するときには/その他)

2 詳細設定方法

本商品のデータ設定、状態確認などの保守方法について説明します。Webブラウザを使用します。

かんたん設定やルータ、電話、無線LANなどの各種設定、状態表示、ログ表示などのメニューがあります。メニューをクリックすると各種Web保守画面が表示されます。この章では画面単位で用途や操作方法について説明します。

3 付録

本商品のサービス機能について説明します。

また、付録として用語集、設定記入シートを載せましたので活用してください。

Web Caster V110でできること

本商品の特長などについて説明します。

Web Caster V110とは

本商品は、ルータ機能、IP電話機能を内蔵しています。ADSLモデム/回線終端装置（ONUなど）につなぐことで複数のパソコンでインターネット接続できると共に、IP電話網を介してIP電話を利用することもできます。

特長

IP電話サービスが利用できます

IP電話網を介して、電話、ファクスの通信が可能です。

無線LAN対応 ※1

ワイヤレス子機に接続したパソコンからインターネット利用が可能です。

途切れない通信で快適

IP電話は、ゆらぎ吸収機能により途切れない自然な通話を実現し、また、ネットワーク遅延状況に応じて、自然な会話を維持しながら遅延を回復します。

フレッツ・ADSL、Bフレッツに対応

PPPoEクライアント機能を搭載しました。

呼制御プロトコル

RFC3261 SIP準拠

複数台のパソコンを同時につなげます

複数台のパソコンから同時にインターネット利用が可能です。

NTTネットワークサービスに対応

キャッチホン、ナンバー・ディスプレイなどに対応しています。

UPnP、Unnumbered等各種ルータ機能搭載

設定については詳細取扱説明書をご覧ください。

マルチセッション対応

2つのPPPoEセッションを同時に使用することが可能です。

※1 別途Web Caster FT-STC- Va/g無線LANカードが必要です。

ご利用前の注意事項

電話機能に関するご注意

【IP電話と加入電話の選択】

- 本商品に接続した電話機からは、IP電話および加入電話を利用することができます。
- IP電話として通話しているか加入電話として通話しているかは、本商品のランプまたは発信時にハンドセット（受話器）から聞こえる音により識別できます。

発信時に聞こえる音			
音の意味	IP電話として通話します	IP電話では通話不可のため、加入電話に切り替え	加入電話として通話します
通話料金	<u>IP電話通話料</u> ご契約のプロバイダから請求されます。	<u>加入電話通話料</u> NTT東日本・NTT西日本またはマイライン・マイラインプラスに登録された電話会社から請求されます。	
通知できる発信者番号	<u>IP電話番号</u> 例：050-1234-5678	<u>加入電話番号</u> 例：03-1234-5678 06-1234-5678	
通話できる相手	IP電話サービスのサービス対象通話	IP電話サービスのサービス対象外通話	下記の番号は、常に加入電話として発信します。
	ご契約のプロバイダのサービス内容をご確認ください。 ※IP電話サービスによって、サービス対象（IP電話として通話できる相手先番号）が異なります。 ※IP電話ではつながらない番号（サービス対象外通話）をダイヤルした場合は、加入電話としての発信に切り替わる場合があります。 ※停電時やIP電話対応機器の電源が入っていないときは、すべて加入電話からの発信になります。		110番、119番などの緊急通報 0000+相手先電話番号 113、116 117、177などのサービス（184、186以外） #で始まるダイヤル

【IP電話の利用】

- IP電話をご利用いただくためには、プロバイダ等とのIP電話サービス契約および本商品へのIP電話設定が必要です。なお、本商品がインターネットに接続されていない場合やプロバイダ等のサーバと通信できる状態にない場合、IP電話は利用できません。
- IP電話はプロバイダ等が提供するサービスです。IP電話のサービス内容や利用料金等を、ご契約されるプロバイダ等に必ずご確認ください。
- IP電話として通話した場合の通話料金はプロバイダ等から請求されます。また、IP電話として通話した場合に相手先に通知できる発信者番号は、プロバイダ等から付与されたIP電話番号です。
- IP電話として接続できない通話（IP電話サービス対象外の番号をダイヤルした場合等）は、加入電話としての発信に自動切換されることがあります。自動切換される条件はご契約されたIP電話サービスによって異なりますので、プロバイダ等にご確認ください。
- IP電話の通話品質は、下記のような場合に劣化することがあります。
 - －ADSL回線の接続状況によって十分な帯域が確保できない場合
 - －インターネットで十分な帯域が確保できない場合
 - －本商品に接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合
- IP電話でファクスやアナログモデム通信を行った場合、あるいは音声ガイド等で通話中にプッシュ信号の入力が必要な場合は、通信に失敗することがあります。通信が失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して使用料金がかかります。確実に通信したい場合には、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロ4回）をダイヤルし、加入電話をご利用ください。
- 加入電話回線に着信があった場合、ADSL回線による接続が途切れることがあります。ADSL回線による接続が途切れると、IP電話通話中の場合は通話が切断されます。
- IP電話通話中に本商品の電源が切れた場合や再起動中、システム更新中は、通話が切断されます。
- 本商品に接続している電話機のACR等の機能が動作している場合、IP電話が使用できない場合があります。ACR等の機能によって加入電話としての通話になった場合は、加入電話の通話料金がかかります。必ず電話機のACR等の機能は停止させてください。
- 本商品は、IP電話や映像コンテンツの視聴などを同時に行い、本商品に負荷がかかった場合に、電話のご利用および映像コンテンツの視聴に影響を及ぼす可能性があります。
- 複数のパソコンを無線LANに接続し、同時に大容量のストリーミング通信等を行う場合、IP電話の通話が安定しない可能性があります。

ご利用前の注意事項

【加入電話の利用】

- 加入電話をご利用いただくためには、加入電話の契約および本商品への加入電話回線の接続が必要です。
- 緊急通報（110番や119番等）等、一部の電話番号（※）をダイヤルした場合は、必ず加入電話としての発信になります。本商品に加入電話回線が接続されていないと通話できませんのでご注意ください。
※他に113、116、117、177等の1から始まる3桁番号や#で始まる番号。ただし、184/186は除きます。
- 加入電話として通話した場合の通話料金は、NTT東日本・NTT西日本またはマイライン（マイラインプラス）に登録された電話会社から請求されます。
- 意図的に加入電話として発信したい場合は、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロ4回）をダイヤルしてください。
- なんらかの事情によりIP電話がご利用いただけない場合は、「0000」（ゼロ4回）をダイヤルすることにより加入電話として通話することができます。
- 停電時および本商品の電源が切れている場合、および本商品のIP電話設定が未設定の場合は、すべて加入電話としての通話となります。
- 本商品は、IP電話や映像コンテンツの視聴などを同時に行い、本商品に負荷がかかった場合に、電話のご利用に影響を及ぼす可能性があります。
- ダイヤル中に電源断が発生すると、正しい相手先につながらない場合があります。

電波に関するご注意

(Web Caster FT-STC-Va/g装着時にお読みください)

本商品*の使用周波数帯では、電子レンジや産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

1. 無線LANカードをご利用になる場合は、本商品*を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品*から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置などについてご相談ください。
3. その他、本商品*から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことがおきた場合には、当社のお問い合わせ先窓口へご連絡ください。

● 本商品*は、日本国内でのみ使用できます。

● 次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。

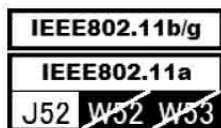
- ・ 強い磁界、静電気、電波障害が発生するところ(電子レンジ付近など)
- ・ 金属製の壁(金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む)の部屋
- ・ 異なる階の部屋同士

● 本商品*と同じ無線周波数帯の無線機器が、本商品*の通信可能エリアに存在する場合、転送速度の低下や通信エラーが生じ、正常に通信できない可能性があります。

● 本商品*をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。

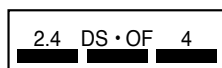
● 無線LANをご利用の場合、周囲の電波状況によっては、本商品*の動作に影響が出る場合がありますので、ご了承ください。

● 本商品*を5GHz帯で使用する場合、屋外で使わないでください。法令により5GHz無線機器を屋外で使用することは禁止されているため、屋外で使用する場合は、あらかじめ5GHz帯の電波を無効にしてください。



J52 : 5GHz帯で利用可能なチャンネルはch34、ch38、ch42、ch46です。

● 本商品*は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDSSS方式およびOFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。



2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線設備を示す

DS・OF : 変調方式を示す

4 : 想定される干渉距離が40m以下であること

■■■ : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避することを意味する

● 本商品*は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

- ・ 本商品*を分解／改造すること

※ここでは「本商品」とはWeb Caster FT-STC-Va/g装着時を示します。

ご利用前の注意事項

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意 (Web Caster FT-STC-Va/g装着時にお読みください)

無線LANでは、LANケーブルを使用するかわりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報やメールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへアクセスした場合、次のような危険にさらされる可能性があります。

個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）

特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）

傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）

コンピュータウイルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行ってから製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、本商品を使用することをお奨めします。

お客様情報に関するご注意

- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を被る恐れがありますので、データの管理には十分お気をつけください。
- 本商品を廃棄（または譲渡、返却等）される際は、本商品を初期化して本商品内のデータを必ず消去してください。
- 本商品の初期化は、本書「付録」の「本商品の初期化について（P8-41）」に記載された初期化方法の手順にしたがって実施してください。

1 最初に確認しましょう

最初に必ずこの章を確認してください。

セットを確認してください	1-2
各部の名前	1-3
セットアップする	1-5

セットを確認してください

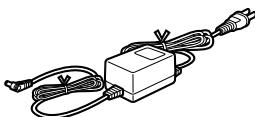
設置を始める前に、構成部品がすべてそろっていることを確認してください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

● 構成部品

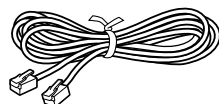
① Web Caster V110
(1台)



② 電源アダプタ (1個)



③ 電話機コード (1本)
(長さ: 約2.1m、
色: 白色)



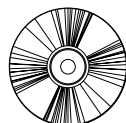
④ LANケーブル (1本)
(ストレート、長さ:
約1.5m、色: 灰色)



⑤ 取扱説明書 (1冊)



⑥ CD-ROM「Web
Caster V110専用
CD-ROM」(1枚)



⑦ クイックインストールガイド (1枚)

⑫ 保証書 (1枚)

⑧ IP電話サービスをご利用のお客様へ (1枚) ⑬ アンケートはがき (1枚)

⑨ まるごと設定ツールの使い方 (1枚)

⑩ まるごと設定ツールクライアントユーティリティガイド (1枚)

⑪ NTT通信機器お取扱相談センタシール (1枚)

● お客様にご用意いただくもの

- ・ 電話機 ※1、またはファクス※2
- ・ 電話機コード
- ・ パソコン
- ・ 10BASE-Tまたは10BASE-T/100BASE-TX(推奨)に対応したLANカード ※3

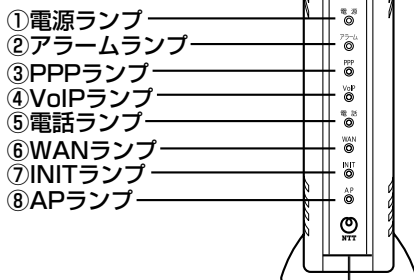
※1 ホームテレホンの電話機やデジタル電話機等には接続できません。

※2 IP電話を用いてファクスやアナログモデム通信の送受信を行うと失敗する場合があります。失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して利用料金がかかります。確実に通信したい場合には、相手の電話番号の前に「0000」(ゼロを4回)を付与して加入電話をご利用ください。

※3 10BASE-Tもしくは、10BASE-T/100BASE-TX(推奨)に対応したLANインタフェースをパソコンが内蔵している場合は必要ありません。

各部の名前

●前面図



【ランプ表示】

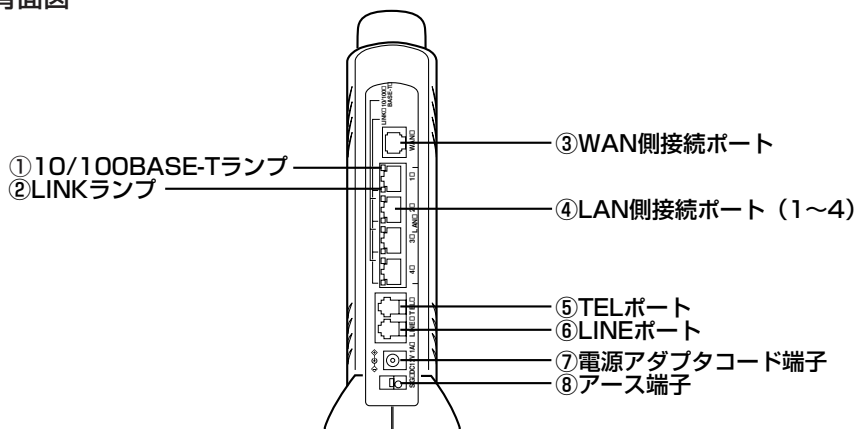
ランプの種類	ランプのつき方(色)	本商品の状態
①電源ランプ	消灯	本商品に電源が入っていないとき※2
	点灯 (緑)	本商品に電源が入っているとき
②アラームランプ	消灯	正常な状態
	点灯 (赤)	装置障害※2
	点滅 (赤)	装置障害※2
③PPPランプ	消灯	オフライン状態のとき※2
	点灯 (緑)	1セッション接続中
	点灯 (橙)	2セッション接続中
④VoIPランプ	消灯	IP電話がご利用できない状態のとき※2
	点灯 (緑)	IP電話がご利用可能のとき
	点滅 (緑)	IP電話で通話中／着信中／呼出中
⑤電話ランプ	消灯	加入電話がご利用できない状態のとき※2 ※本商品に加入電話回線を接続していないときも「消灯」になります。
	点灯 (橙)	加入電話がご利用可能のとき ※初期設定状態では「消灯」になります。
	点滅 (橙)	加入電話で通話中／着信中／呼出中
⑥WANランプ	消灯	WAN回線がご利用できない状態のとき※2
	点灯 (緑)	WAN回線がご利用可能のとき
	点滅 (緑)	WAN回線でデータ通信中
⑦INITランプ	消灯	通常の状態
	点灯 (赤)	初期設定状態※2
⑧APランプ	常に消灯	本商品では未使用

※1 本商品に電源を投入する際、全ランプが一度点灯します。

※2 「7章 お困りのときには」を参照してください。

各部の名前

●背面図



【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつき方(色)	本商品の状態
① 10/100BASE-T ランプ(4個)	消灯	10 Mbpsでデータ送受信可能のとき
	点灯 (緑)	100 Mbpsでデータ送受信可能のとき
② LINKランプ(4個)	消灯	LANがご利用できない状態のとき
	点灯 (緑)	LANがご利用可能のとき
	点滅 (緑)	LANでデータ通信中

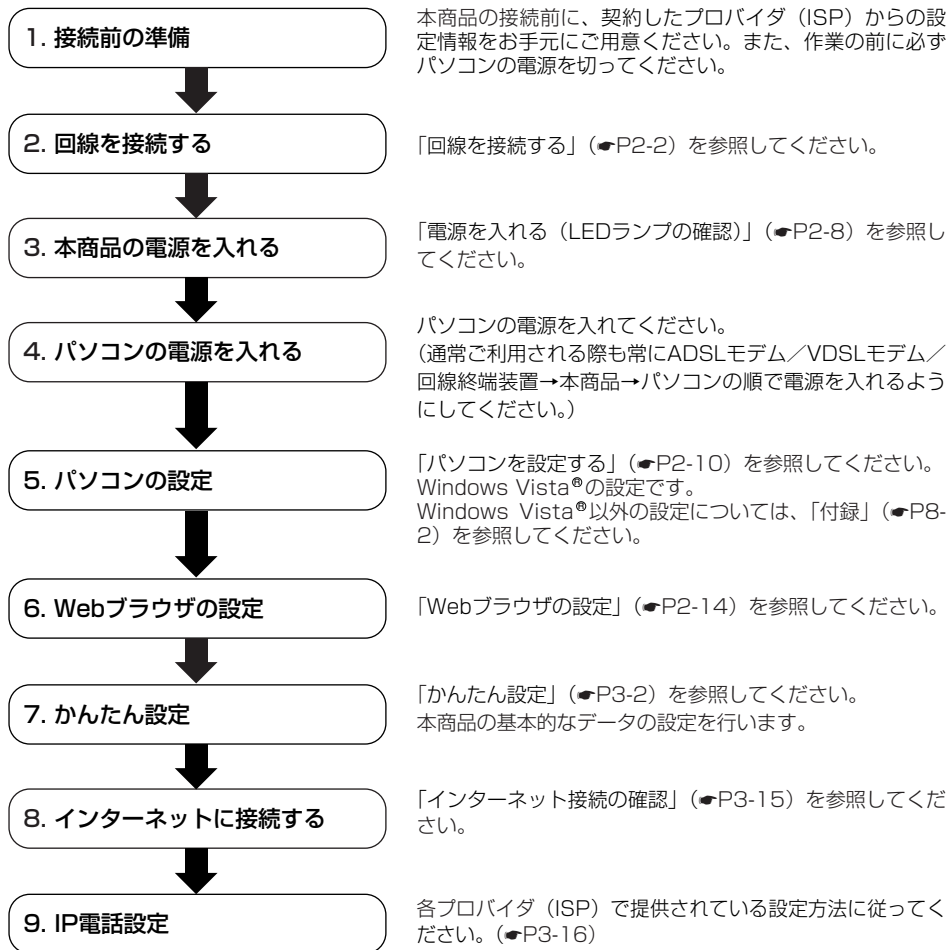
【ポート名等】

名称	説明
③ WAN側接続ポート	ADSLモデム等のLANポートと接続します。
④ LAN側接続ポート(1~4)	パソコンのLANポートと接続します。
⑤ TELポート	電話機と接続します。
⑥ LINEポート	スプリッタのTELポート（電話を接続するポート「PHONE」、「TEL」等と記載）等に接続します。
⑦ 電源アダプタコード端子	電源アダプタを接続します。
⑧ アース端子	アースへ接続します。アースへの接続はお客様の任意です。 ^(注)

(注) アースケーブルを接続する場合、線材はAWG18（銅線の断面積0.8 mm²相当）程度の軟銅線をご用意いただき、接続してください。

セットアップする

本商品を接続してインターネット接続やIP電話をご利用できるようになるまでの基本的な流れを示します。



お知らせ

- 本商品の電源を入れてから、パソコンの電源を入れてください。本商品より先にパソコンの電源が入っていると、パソコンがIPアドレスを取得できず、インターネットに接続できません。

2 本商品の接続とパソコンの設定

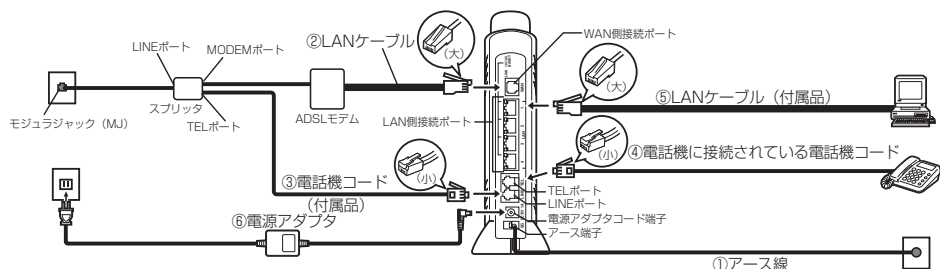
本商品とパソコンを接続して、インターネットに接続する準備までを説明します。

回線を接続する	2-2
電源を入れる（LEDランプの確認）...	2-8
設定の流れ	2-9
パソコンを設定する （Windows Vista®の場合）.....	2-10
Webブラウザの設定	2-14

回線を接続する

フレッツ・ADSLに接続する

本商品は次のような構成で接続することができます。



① アース線を接続する

アース線を接続します。

※ アース線は付属品に添付されていません。別途ご準備ください。

② ADSLモデムと本商品を接続する

ADSLモデムのLANポートと、本商品のWAN側接続ポートをLANケーブルで接続します。

※ ADSLモデムの設定方法は各ADSLモデムの説明書を参照してください。

● STOP お願い

- 本商品とADSLモデムの間にルータを接続したご使用はできません。

③ スプリッタと本商品を接続する

スプリッタのTELポート（電話機を接続するポート）と本商品のLINEポートを付属の電話機コードで接続します。

④ 本商品と電話機を接続する

本商品のTELポートと、電話機をこれまで使っていた電話機コードで接続します。この状態で、本商品の電源を入れなくても、加入電話回線を通した通話が可能になります。電話機のハンドセット（受話器）を取り上げて「ツー」という発音音が聞こえたら、電話機の接続確認は完了です。



お知らせ

- IP電話サービスをご利用にならない場合は、スプリッタのTELポートに電話機を直接接続してください。
- 加入電話をご利用にならない場合、スプリッタは必要ありません。モジュラージャックとADSLモデムを直接接続してください。

⑤ 本商品とパソコンを接続する

本商品のLAN側接続ポートと、パソコンのLANポートをLANケーブルで接続します。
ストレートケーブルを使用して接続してください。

⑥ 本商品と電源アダプタを接続する

付属の電源アダプタのケーブルを本商品の電源アダプタコード端子に接続して、電源アダプタを電源コンセントに差し込んでください。

本商品の電源が入ります。

※「電源を入れる（LEDランプの確認）」（➡P2-8）で、LEDランプの点灯状態により、状態を確認してください。

⚠ 注意

- 電源アダプタの接続は、必ず本商品側のコネクタを接続してから電源コンセントに差し込んでください。場合によっては故障の原因となります。
- 雷雨の際は電話の使用を避けてください。落雷によっては火災・感電・故障の原因となります。
- 機器やケーブルは水で濡らさないように気をつけてください。場合によっては、火災・感電・故障の原因となります。

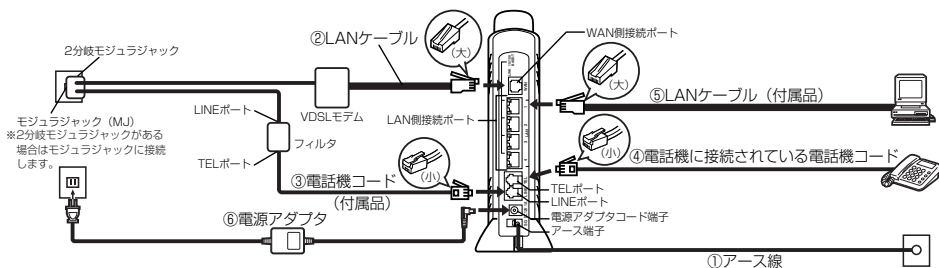
⚠ 警告

- 差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに本商品の電源プラグと他の電気製品の電源プラグを差し込む場合には、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。最大値を超えた場合、火災・感電・故障の原因となります。

回線を接続する

Bフレッツ（マンションタイプVDSL方式）に接続する

本商品は次のような構成で接続することができます。



① アース線を接続する

アース線を接続します。

※ アース線は付属品に添付されていません。別途ご準備ください。

② VDSLモデムと本商品を接続する

VDSLモデムのLANポートと、本商品のWAN側接続ポートをLANケーブルで接続します。

※ VDSLモデムの設定方法は各VDSLモデムの説明書を参照してください。

STOP! お願い

- 本商品とVDSLモデムの間にルータを接続したご使用はできません。

③ モジュラジャックと本商品を接続する

モジュラジャック（または2分岐モジュラジャック）とフィルタのLINEポートを電話機コードで接続し、フィルタのTELポートと本商品のLINEポートを同じく電話機コードで接続します。

④ 本商品と電話機を接続する

本商品のTELポートと、電話機をこれまで使っていた電話機コードで接続します。この状態で、本商品の電源を入れなくても、加入電話回線を通した通話が可能になります。電話機のハンドセット（受話器）を取り上げて「ツー」という発信音が聞こえたら、電話機の接続確認は完了です。



お知らせ

- IP電話サービスをご利用にならない場合は、フィルタのTELポートに電話機を直接接続してください。

⑤ 本商品とパソコンを接続する

本商品のLAN側接続ポートと、パソコンのLANポートをLANケーブルで接続します。
ストレートケーブルを使用して接続してください。

⑥ 本商品と電源アダプタを接続する

付属の電源アダプタのケーブルを本商品の電源アダプタコード端子に接続して、電源アダプタを電源コンセントに差し込んでください。

本商品の電源が入ります。

※「電源を入れる（LEDランプの確認）」（▶P2-8）で、LEDランプの点灯状態により、状態を確認してください。



お知らせ

- 本商品にBフレッツを接続し、IP電話だけでなく加入電話も使用したい場合は、別途加入電話の契約が必要です。（加入電話回線を接続していない場合は110番・119番などにはかけられません。）



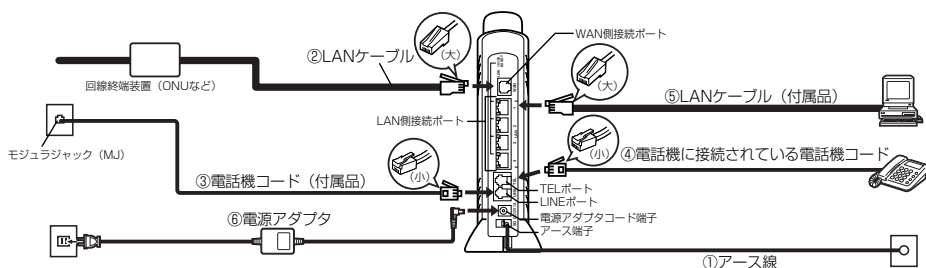
注意

- 電源アダプタの接続は、必ず本商品側のコネクタを接続してから電源コンセントに差し込んでください。場合によっては故障の原因となります。
- 差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに本商品の電源プラグと他の電気製品の電源プラグを差し込む場合には、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。最大値を超えた場合、火災・感電・故障の原因となります。
- 雷雨の際は電話の使用を避けてください。落雷によっては火災・感電・故障の原因となります。
- 機器やケーブルは水で濡らさないように気をつけてください。場合によっては、火災・感電・故障の原因となります。

回線を接続する

Bフレッツ（マンションタイプVDSL方式以外）に接続する

本商品は次のような構成で接続することができます。ここでは回線終端装置（ONU）の場合で説明します。



① アース線を接続する

アース線を接続します。

※ アース線は付属品に添付されていません。別途ご準備ください。

② 回線終端装置（ONUなど）と本商品を接続する

回線終端装置のポートと、本商品のWAN側接続ポートをLANケーブルで接続します。

STOP お願い

- 本商品と回線終端装置の間にルータを接続したご使用はできません。

③ モジュラジャックと本商品を接続する

モジュラジャックと本商品のLINEポートを付属の電話機コードで接続します。

④ 本商品と電話機を接続する

本商品のTELポートと、電話機をこれまで使っていた電話機コードで接続します。この状態で、本商品の電源を入れなくても、加入電話回線を通した通話が可能になります。電話機のハンドセット（受話器）を取り上げて「ツー」という発信音が聞こえたら、電話機の接続確認は完了です。

お知らせ

- IP電話サービスをご利用にならない場合は、モジュラジャックに電話機を直接接続してください。

⑤ 本商品とパソコンを接続する

本商品のLAN側接続ポートと、パソコンのLANポートをLANケーブルで接続します。
ストレートケーブルを使用して接続してください。

⑥ 本商品と電源アダプタを接続する

付属の電源アダプタのケーブルを本商品の電源アダプタコード端子に接続して、電源アダプタを電源コンセントに差し込んでください。

本商品の電源が入ります。

※「電源を入れる（LEDランプの確認）」（➡P2-8）で、LEDランプの点灯状態により、状態を確認してください。



お知らせ

- 本商品にBフレッツを接続し、IP電話だけでなく加入電話も使用したい場合は、別途加入電話の契約が必要です。（加入電話回線を接続していない場合は110番・119番などにはかけられません。）

⚠ 注意

- 電源アダプタの接続は、必ず本商品側のコネクタを接続してから電源コンセントに差し込んでください。場合によっては故障の原因となります。
- 差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに本商品の電源プラグと他の電気製品の電源プラグを差し込む場合には、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。最大値を超えた場合、火災・感電・故障の原因となります。
- 雷雨の際は電話の使用を避けてください。落雷によっては火災・感電・故障の原因となります。
- 機器やケーブルは水で濡らさないように気をつけてください。場合によっては、火災・感電・故障の原因となります。

電源を入れる（LEDランプの確認）

本商品の電源を入れる

次のようにランプの状態が変化します。（電源投入時は一度全点灯します。）

ランプの種類	表示	
	起動中	起動完了 (起動完了まで30秒ほどかかります。)
①電源ランプ	点灯（緑）	点灯（緑）
②アラームランプ	消灯	消灯
③PPPランプ	消灯	消灯
④VoIPランプ	消灯	消灯
⑤電話ランプ	消灯	消灯
⑥WANランプ	点灯（緑）または点滅（緑）	点灯（緑）または点滅（緑）
⑦INITランプ	消灯	点灯（赤）
⑧APランプ	消灯	消灯

- 電源ランプが緑点灯することを確認してください。

電源ランプが点灯しない場合は、コンセントに電源アダプタが繋がっていることを確認してください。
また、本商品背面の電源アダプタコード端子に電源アダプタのプラグが完全に差し込まれていることを確認してください。

- WANランプが緑点灯または点滅することを確認してください。

WANランプが点灯しない場合は、本商品背面のWAN側接続ポートにLANケーブルが確実に接続されていること、およびADSLモデム等の電源が入っていることを確認してください。

- アラームランプ：消灯、INITランプ：赤点灯を確認してください。

ご確認いただいたランプが、上記以外の状態になったときは、「回線を接続する」（➡P2-2、P2-4、またはP2-6）の手順をもう一度ご確認ください。

※この時点ではIP電話回線を使用した通話をご利用できません。（従来の加入電話回線のご利用となります。）

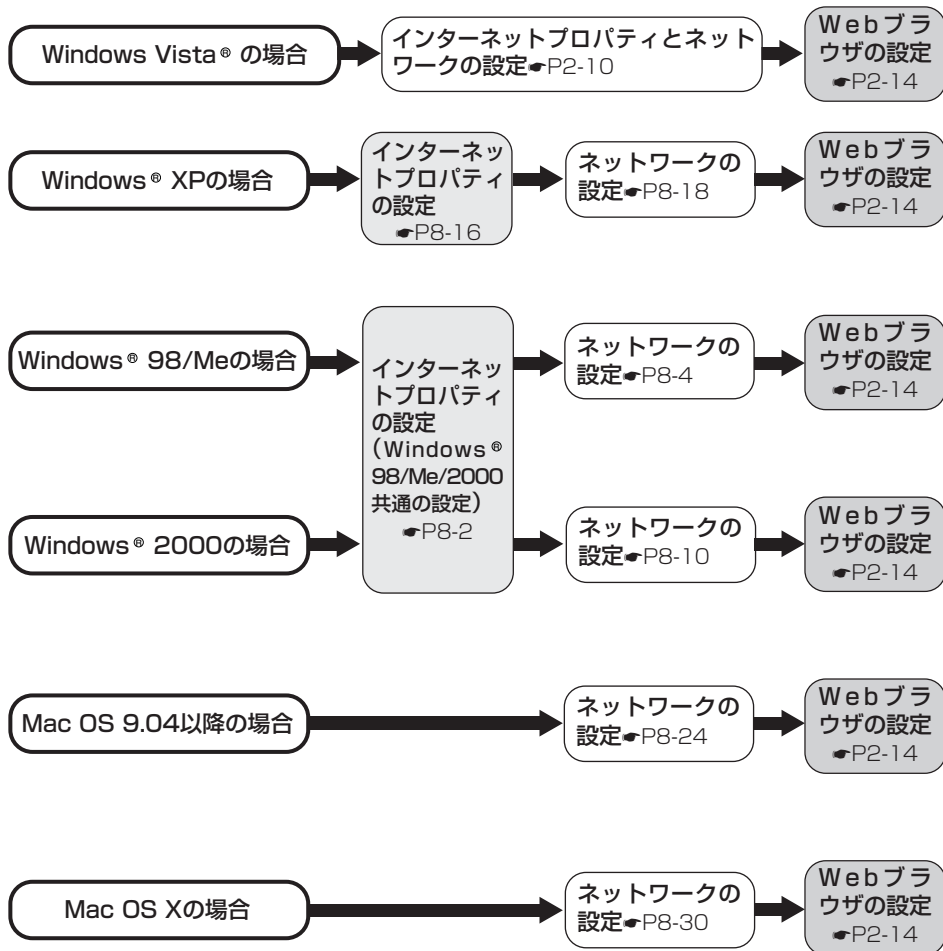
パソコンの電源を入れる

本商品の電源を入れたあと、本商品のLAN側接続ポートに接続されているパソコンの電源を入れてください。その後、接続されているLAN側接続ポートにあるLINKランプが緑点灯することを確認してください。

LINKランプが緑点灯しない場合は、LAN側接続ポートにLANケーブルが確実に接続されていることを確認してください。

設定の流れ

本商品を接続してパソコンの設定を行うまでの基本的な流れを示します。
お使いのOSが該当するページを参照してください。



パソコンを設定する (Windows Vista®の場合)

下記の手順に従って、パソコンを設定します。Windows Vista®以外のOSについては、「付録」の「パソコンのネットワーク設定」(●P8-2)を参照してください。本書ではWindows Vista®標準モードでの画面イメージで説明しています。クラシックモードに画面を設定した場合は、手順が異なります。

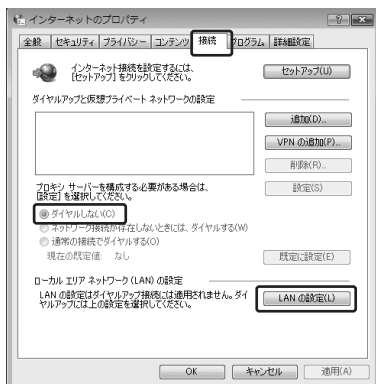
インターネットプロパティとネットワークの設定

1 「スタート」－「コントロールパネル」をクリックします

2 「ネットワークとインターネット」をクリックし、「インターネットオプション」をクリックします

3 「接続」タブをクリックし、「ダイヤルしない」を選択します

※ダイヤルアップを実施していない場合はチェックできないようになっています。「ダイヤルしない」にチェックがついていることを確認してください。



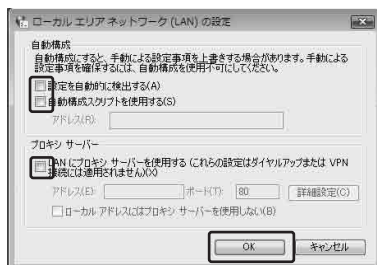
4 「LANの設定」をクリックします



お知らせ

- Internet Explorerを初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」が表示されることがあります。この場合「キャンセル」をクリックしてウィザードをいったん終了してください。(「インターネット接続ウィザード」の詳しい設定手順は、Internet Explorerのヘルプなどをご参照ください。)

- 5 「設定を自動的に検出する」、「自動構成スクリプトを使用する」、「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックを外します



- 6 「OK」をクリックします

- 7 「OK」をクリックします

- 8 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックして、「ネットワークと共有センター」の画面左に表示される「ネットワーク接続の管理」をクリックします

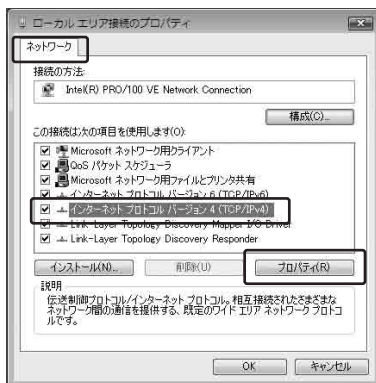
- 9 「ブロードバンド」の欄に、設定がされている場合は、表示されているアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューの「既定の接続を解除」をクリックしてください

- 10 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします
※ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「続行」をクリックしてください。

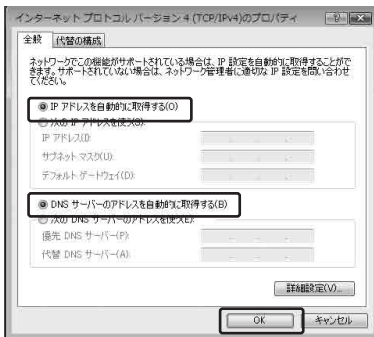
パソコンを設定する (Windows Vista®の場合)

11 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」を選択して、「プロパティ」をクリックします

※一覧に表示されているチェックは外さないでください。



12 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」をチェックします



13 「OK」をクリックします

14 「OK」または「閉じる」をクリックします

ネットワークの設定を確認する

パソコン(LAN カード)と本商品が正しく接続・設定されているか確認したい場合、Windows Vista®ではコマンドプロンプトを起動して操作します。

1 「スタート」－「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」をクリックします

2 ipconfig コマンドを実行します

コマンドプロンプトが開いたら、キーボードから半角英数字で「ipconfig」と入力し、「Enter」キーを押します。

ipconfig コマンドを実行すると、

- ・ IP Address (IPv4アドレス)
- ・ Subnet Mask (サブネットマスク)
- ・ Default Gateway (デフォルトゲートウェイ)

などの情報が表示されます。パソコンに各種情報が正しく設定されていることを確認してください。

IP アドレスは192.168.1.2 ～192.168.1.11 の範囲のいずれかが設定されます。(初期設定状態の場合)



ワンポイント

- IPアドレスとデフォルトゲートウェイが正しく設定されていない場合は、半角英数字で「ipconfig /renew」と入力してください。
IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの各情報が再度表示されます。
- 各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンの電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、再起動してください

Webブラウザの設定

本商品は、各種の設定、データ変更、状態確認などをWebブラウザで実施します。
Webブラウザを使用するための設定について説明します。

●Windows® をご利用の場合

Internet Explorer 5.5（サービスパック2）、Internet Explorer 6またはInternet Explorer 7がインストールされていることを確認してください。

JavaScript機能の設定、キャッシュ機能の設定を確認してください。以下はInternet Explorer 7のイメージで説明していますが、Internet Explorer 5.5（サービスパック2）、Internet Explorer 6の場合も同様の手順で実施することができます。

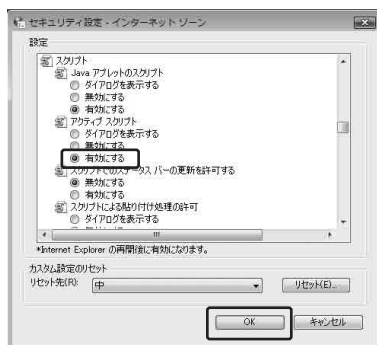
1 「スタート」－「コントロールパネル」をクリックします

2 「ネットワークとインターネット」をクリックし、「インターネットオプション」をクリックします

3 「セキュリティ」のタブを選択し、「レベルのカスタマイズ」をクリックします



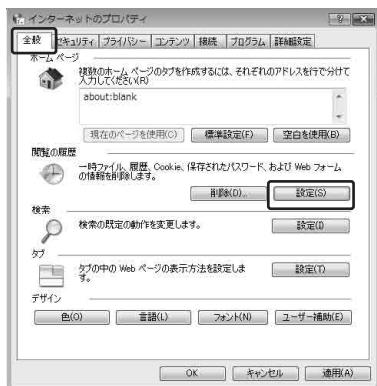
4 スクリプト項目のアクティブスクリプトの「有効にする」をチェックします



5 「OK」をクリックします

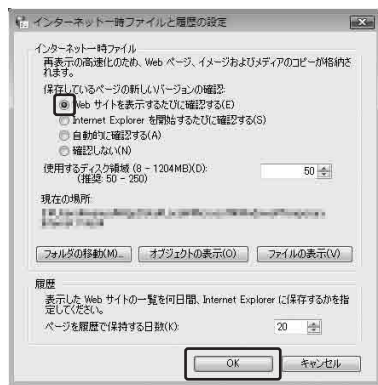
6

「全般」のタブをクリックし、「閲覧の履歴」項目（または「インターネット一時ファイル」）にある「設定」をクリックします



7

「Webサイトを表示するたびに確認する」（または「ページを表示するごとに確認する」）をチェックします



8

「OK」をクリックします

9

「OK」をクリックします

●Mac OSをご利用の場合

Internet Explorer5.1.6 以上（OS X は5.2.2 以上）がインストールされていることを確認してください。



お知らせ

- Internet Explorerを初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」というダイアログが起動することがあります。この場合は「キャンセル」をクリックして、ウィザードを終了してください。「インターネット接続ウィザード」の詳しい設定手順は、Internet Explorerのヘルプなどをご覧ください。
- ブラウザの「戻る」、「進む」は使用しないでください。「戻る」、「進む」を使用した場合の動作は保証しません。

3 本商品の設定方法

本商品と接続したパソコンからのインターネットのご利用またはIP電話をご利用するためには、本商品に設定が必要です。ここでは設定手順について説明します。

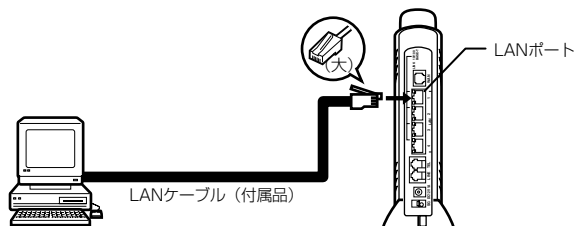
かんたん設定	3-2
インターネット接続の確認	3-15
IP電話の設定	3-16
時刻の設定について	3-17

かんたん設定

Webブラウザで本商品の基本的なデータを設定します。初期設定でログイン後、かんたん設定で各データを設定してください。

1 本商品のLAN ポートにパソコンを接続する

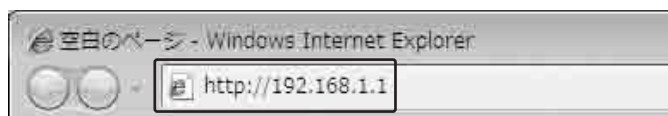
本商品背面にあるLAN ポートとパソコンをLAN ケーブルで接続してください。



2 本商品に接続したパソコンでInternet Explorer を起動する



3 アドレスバーに「http://192.168.1.1」と入力し、「Enter」キーを押す



※本章の設定が完了したあとでは、「http://setup.fletsphone」と入力しても同じ画面が表示されます。

4 はじめてご利用になる場合は初期設定を行う

はじめて本商品をご利用になる場合、以下の「初期設定」が表示されます。セキュリティ確保のために「Web設定ログインパスワード設定」にてパスワードの設定を行ってください。

5 「初期設定」のデータを入力する

下記の項目を入力してください。

入力項目		入力／選択する内容 (例)	説 明
Web 設定 ログインパ スワード設 定	新しいパスワード	半角英数字および ASCIIコードの記号 (但し、「」」「：」ス ペースを除く) を含む 1文字以上10文字以内 ※ASCIIコードの詳細に ついては本書「付録」 のASCIIコード表」を 参照してください。	本商品のWeb設定にログイン するためのパスワードを設定 してください。
	新しいパスワード 確認	同上	確認のためにもう一度同じパ スワードを設定してください。

(注) パスワードは忘れないように必ずメモして安全な場所に保管してください。

6 「確認」をクリックする

内容が不正な場合は、正しい値を入力し、「確認」をクリックしてください。正しい値を入力すると、「送信」が有効になります。

7 「送信」をクリックする

入力したデータが本商品に設定されると、以下のダイアログメッセージが表示されます。



「OK」をクリックします。ログイン画面が表示されます。

(次ページに続く)

8 本商品へログインする

下記ログイン画面で「ユーザー名」に「admin」と入力し、「パスワード」に手順5で設定したパスワードを入力してください。

※「ユーザー名」は「admin」固定です。

9 インターネット接続／自動アップデート機能設定を入力する

つづけて、以下の「インターネット接続／自動アップデート機能設定」画面が表示されます。「動作モード」、「インターネットサービスプロバイダ設定」、「自動アップデート機能設定」の各項目に入力して下さい。



お知らせ

- 「インターネット接続／自動アップデート機能設定」画面での設定と、手順12の最新ファームウェアの確認が完了していない場合、自動バージョンアップ機能が正常に動作しません。



ワンポイント

- 以降本書で「Webブラウザで本商品にログインしてください」とある場合は、ここに示したログインの手順（手順1～3、および手順8）を実施してください。

項目	内容	説明
<動作モード>		
動作モード	ネットワークへ接続するときの接続方法を設定します。通常は「PPPoE」を選択します。 設定範囲：PPPoE/DHCP/固定IP/アダプタ	初期値：PPPoE
<インターネットサービスプロバイダ設定> ※1		
接続ユーザ名	aaa@xxxxxxx.ne.jp	プロバイダから指定されたログインID名（※2）を入力してください。（詳細取扱説明書の「PPPoE設定」を参照）
接続パスワード	Password	プロバイダから指定されたログインパスワード（※2）を入力してください。画面上では「●」で表示されます。（詳細取扱説明書の「PPPoE設定」を参照）
接続パスワード確認	「接続パスワード」を再入力します。	確認のためにもう一度同じログインパスワード（※2）を入力してください。
<自動アップデート機能設定> ※1		
実行時刻	設定した時刻に本商品のファームウェアの更新を行います。 設定範囲：指定なし／指定あり（0時00分～23時50分）	初期値：指定なし（4時00分～5時00分から無作為に選択します。） 「指定あり」の場合、指定時刻は10分単位になります。通信をご利用にならない時間帯に設定されることをお勧めします。

※1 「動作モード」で「PPPoE」以外を設定する場合は、ここに設定する必要はありません。

※2 プロバイダによってログインID名、ログインパスワードの呼び方が異なります。



お願い

- 本商品の電源を落とさずにご利用ください。電源が切れているとファームウェアの更新ができない場合があります。



お知らせ

- バージョンアップ実行中（数分間）はインターネット接続が切断されます。「実行時刻」に設定した時間帯にダウンロードなどを実行する場合はご注意ください。

（次ページに続く）

10

「確認」をクリックする

正しい値を入力した場合は、「送信」が有効になります。

11

「送信」をクリックする

入力したデータが本商品に登録されます。

下記画面が表示されます。「OK」をクリックしてファームウェアの更新確認を行います。手順12へお進みください。



※ 動作モードで「PPPoE」と「アダプタ」以外を選択した場合は、ファームウェアの更新確認を行いません。さらに「ネットワーク設定」画面にて設定内容の確認または追加の設定を行う必要があります。詳細取扱説明書「ネットワーク設定」を参照してください。



お知らせ

- 「動作モード」を「DHCP」または「固定IP」から「PPPoE」または「アダプタ」に変更したとき、ファームウェアの自動バージョンアップが行われる場合があります。

最新ファームウェアの確認を行う

最新ファームウェアの確認を行い、更新ファームウェアがあればバージョンアップします。ファームウェアの確認に失敗した場合は「エラーメッセージが表示された場合」(P3-9)の(注1)を参照してください。

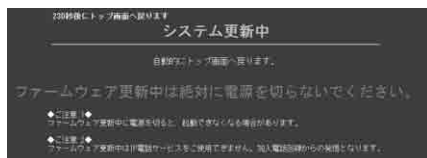


STOP お願い

- ファームウェア更新確認中に電源を切らないでください。回復不能な故障の原因になることがあります。

●更新するファームウェアがある場合

本商品は最新のファームウェアで運用していません。バージョンアップする必要があります。ファームウェア確認後に以下の画面が表示されます。



そのまましばらくお待ちください。再起動後の画面が表示されるまでの時間はファームウェアの更新内容により異なります。

バージョンアップ中は本商品のランプ表示が以下のようになることを確認してください。

ランプの種類	ランプのつき方
アラームランプ	遅い点滅 (赤)
PPPランプ	遅い点滅 (緑)
VoIPランプ	遅い点滅 (緑)
電話ランプ	遅い点滅 (橙)

STOP お願い

- バージョンアップ中に電源を切らないでください。回復不能な故障の原因になることがあります。

かんたん設定

本商品の再起動が完了すると以下の「機能追加内容」画面が表示されます。(次に本商品にログインしたときにもこの画面が表示されます。「次回から表示しない」にチェックを入れておくと、この画面は表示されなくなります。)[OK]をクリックして、手順13にお進みください。ファームウェアの更新と再起動に失敗した場合は「エラーメッセージが表示された場合」(P3-10)の(注2)を参照してください。

ファームウェアの更新が行われました。

【機能追加内容】

V110 ファームウェア Ver.XXXXXXX (0000/AA/BB)

・ファームウェア更新機能の向上を図りました。

[OK]ボタンをクリックすると、かんたん設定画面が表示されます。

☐ 次回から表示しない



※ 設定画面にLAN接続アドレスでアクセスしている場合は、クリックすると認証画面が表示されます。
この際は、本商品のID、パスワードを入力してください。

※表示画面はファームウェアの更新内容によって変化します。

●更新するファームウェアがない場合

本商品は最新のファームウェアで運用しています。以下の画面が表示されます。そのまましばらくお待ちください。本商品の再起動が完了すると「かんたん設定」画面が表示されます。手順13へお進みください。



■エラーメッセージが表示された場合

(注1) PPPoE接続に失敗した場合

PPPoE接続に失敗した場合は、以下の画面が表示されます。エラー内容を確認してください。

ファームウェア更新確認結果

更新確認に失敗しました。「かんたん設定へ」をクリックし、後で更新確認するか、「戻る」をクリックし、再度、更新確認を行ってください。

かんたん設定へ

戻る

●エラーメッセージは以下のものが表示されます。

- ① PPPoEの接続に失敗しました。「戻る」をクリックし、インターネットサービスプロバイダ設定が正しく設定されていることをご確認の上、もう一度お試しください。
- ② ネットワークに問題があるため、PPPoEの接続に失敗しました。「戻る」をクリックし、しばらく待ってもう一度お試しください。
- ③ 接続処理中のため、PPPoEの接続に失敗しました。「戻る」をクリックし、しばらく待ってもう一度お試しください。
- ④ 認証エラーのため、PPPoEの接続に失敗しました。「戻る」をクリックし、インターネットサービスプロバイダ設定が正しく設定されていることをご確認の上、もう一度お試しください。
- ⑤ 切断処理中のため、PPPoEの接続に失敗しました。「戻る」をクリックし、しばらく待ってもう一度お試しください。

●次のことを確認してください。

- ① ケーブルなど接続構成の確認（「回線を接続する」(●P2-2)）
 - ② 「接続ユーザ名」「接続パスワード」の確認（手順9（●P3-4)）
- それでもうまくいかない場合は「かんたん設定へ」をクリックしてください。

※「かんたん設定へ」をクリックすると以下の画面が表示されます。



「OK」をクリックすると本商品のシステム更新、再起動を行い、そのあとに「かんたん設定」が表示されます。手順13へお進みください。

(注2) その他のエラー

以下のような画面が表示された場合は、画面中の「かんたん設定へ」をクリックし、「再起動」メニューをクリックしてください。「再起動」画面が表示されますので、画面中の「再起動」をクリックし、はじめからやり直してください。

※本商品の再起動は、詳細取扱説明書「再起動」を参照して行ってください。



以下のような画面が表示された場合は、画面の指示にしたがって再起動後に「状態表示」画面にてバージョンを確認してください。(詳細取扱説明書「状態表示」画面)



「かんたん設定」画面を確認する

メインメニュー
項目



各種機能設定画面表示



【画面説明】

設定画面は左右2つのフレームに分かれています。

・画面左側：メインメニュー項目

実施したい項目をクリックします。サブメニューが表示される場合もあります。

項目の詳細は詳細取扱説明書「Webブラウザによる設定について」を参照してください。
また、メニュー項目の上には本商品からの通知情報が表示されます。（「バージョンアップお知らせ方法」（➡P5-8）を参照してください。）

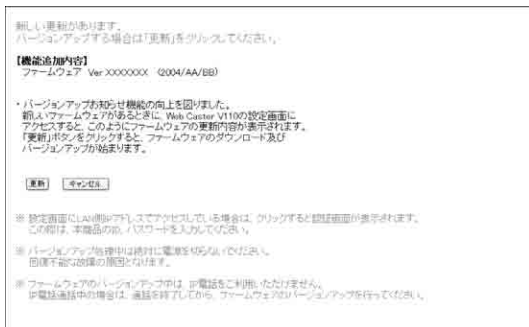
・画面右側：各種機能設定画面表示

メニューおよびサブメニューで選択した項目のWeb保守画面が表示されます。



お知らせ

- ファームウェアのアップデートが必要な場合は、「かんたん設定」画面が表示されるかわりに以下のような通知画面が表示されます。「更新」をクリックしてアップデートを行ってください。（「バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」（➡P5-6）を参照してください。）



（次ページに続く）

14 「かんたん設定」の各項目を設定する

入力項目		入力／選択する内容（例）	説 明
インターネットサービスプロバイダ設定	接続ユーザ名	aaa@xxxxxxx.ne.jp	プロバイダから指定されたログインID名*を入力してください。 (詳細取扱説明書の「PPPoE設定」を参照)
	接続パスワード	Password	プロバイダから指定されたログインパスワード*を入力してください。画面上では「●」で表示されます。 (詳細取扱説明書の「PPPoE設定」を参照)
	接続パスワード確認	「接続パスワード」を再入力します。	プロバイダから指定されたログインパスワードを再度入力してください。画面上では「●」で表示されます。
利用中電話サービス	ナンバー・ディスプレイ	プルダウンメニューから「あり/なし」を選択してください。	TELポートに接続する電話機のナンバー・ディスプレイ機能をご利用になる場合は「あり」を選択してください。 (初期値：なし) (詳細取扱説明書の「サービス設定」を参照)
	キャッチホン	プルダウンメニューから「あり/なし」を選択してください。	当社のキャッチホンに契約されているお客様は「あり」を選択してください。 (初期値：なし) (詳細取扱説明書の「サービス設定」を参照)

※ プロバイダによってログインID名、ログインパスワードの呼び方が異なります。

15 「確認」をクリックする

内容が不正な場合は、正しい値を入力し「確認」をクリックしてください。正しい値を入力した場合は、「送信」が有効になります。

16 「送信」をクリックする

入力したデータが本商品に設定されます。

17 「反映」をクリックする

以下の画面が表示されます。「OK」をクリックしてください。



(注) 通話中にクリックした場合、操作は無効になります。以下の画面が表示されます。「戻る」をクリックし、通話終了後もう一度実行してください。



18 再起動中は以下の画面が表示され、設定が終わるまでの秒数が表示される



注意

● この間、電源をOFFにしないでください。回復不能な故障の原因となります。

19 再起動が終了すると「かんたん設定」画面に戻る

(注) PPPランプが緑点灯していることを確認してください。PPPランプが消灯している場合はかんたん設定の入力項目が誤っている場合があります。Webブラウザを閉じて最初からやり直してください。

(次ページに続く)



お知らせ

- プロバイダからDNSサーバアドレスを指定されている場合は、「かんたん設定」を行った後、「ルータ設定」の「PPPoE設定」画面で「DNSサーバアドレス」を設定してください。（☛詳細取扱説明書「PPPoE設定」）
- 「PPPoE設定」画面の「接続先設定」で、「接続先1」以外が「セッション1」に設定されていた場合、「かんたん設定」を行うと、「セッション1」は「接続先1」が選択されます。また、「セッション2」に設定されていた内容は「接続しない」に選択が変更されます。
- 既に、「接続先1」に入力された内容がある場合、後から「かんたん設定」を実施することによって、「接続先1」の内容は「かんたん設定」で設定した内容に上書きされます。
- 加入電話のナンバー・ディスプレイサービスおよびIP電話サービスの発信者番号通知の機能をご利用になるには、加入電話のナンバー・ディスプレイ対応の電話機またはファクスが必要です。
- 加入電話でナンバー・ディスプレイサービスをご利用になる場合は、加入電話のナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。
- IP電話で発信者番号通知の機能をご利用になる場合は、加入電話のナンバー・ディスプレイサービスのご契約は必要ありません。

【Lモードサービスについて】

- Lモードサービスご利用の場合、「ナンバー・ディスプレイ」を「あり」に設定してください。（当社のLモードサービスへの契約が必要です。）

インターネット接続の確認

かんたん設定後、インターネット接続ができるかどうか確認します。

OS共通

Internet Explorerの「アドレス」欄に「http://www.ntt.co.jp/」とURLを入力して「Enter」をクリックし、下記のようなホームページが表示されましたら本商品は正常に動作しています。



お知らせ

- Internet Explorerを初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」というダイアログが起動することがあります。この場合は「キャンセル」をクリックして、ウィザードを終了してください。「インターネット接続ウィザード」の詳しい設定手順は、Internet Explorerのヘルプなどをご覧ください。

IP電話の設定

IP電話をご利用いただくためには、別途プロバイダとのIP電話サービス契約および本商品へのIP電話設定が必要です。

IP電話の設定方法は各プロバイダのIP電話サービスにより異なりますので、ご契約のプロバイダのホームページなどでご確認のうえ、設定を行ってください。なお、本商品の「対応プロバイダ」が提供するIP電話サービスのホームページへは、以下のレッツ公式ホームページからアクセスが可能です。

【NTT 東日本】<http://flets.com/ipphone/pbd.html>

【NTT 西日本】<http://flets-w.com/ipphone/provider/index.html>

本商品へのIP電話設定は、プロバイダのホームページなどから自動的に行うことができます。その際、ネットワークパスワードの入力が必要になります。「かんたん設定」(●P3-4)の手順8を実施してください。

また、プロバイダによっては、別途プロバイダから送付された設定情報を本商品の設定画面から入力していただく必要があります。IP電話サービスを受けるための設定を本商品に対して行うようにプロバイダから指示されている場合のみ、クイックインストールガイドまたは、詳細取扱説明書の「Webブラウザによる設定について (IP電話設定情報)」の記載に従って各項目の設定を行ってください。

(注) 設定完了後、VoIPランプが緑点灯すればIP電話がご使用可能となります。VoIPランプが消灯している場合は、IP電話設定に誤りがありますので、再度設定をご確認ください。

お願い

- IP電話の設定は、必ずインターネットに接続した後に実施してください。
- プロバイダのWeb ページに記載されている指示に従ってIP電話の設定を自動的に行うことができる場合は、プロバイダの指示に従ってください。なお、自動的に設定された内容もIP電話設定の画面で表示されますが、記入されている内容の変更を行わないでください。IP電話機能が使用できなくなります。

時刻の設定について

本商品に時刻を設定しないとログ情報が1970年代の表示になります。正確なログ情報等を取得するためにも、以下の方法で時刻を設定してください。
(詳細取扱説明書「ネットワーク設定」)

- ① 「NTPサーバIPアドレス」にNTPサーバのIPアドレスを入力します。※1
- ② 「確認」、「送信」の順にクリックします。
- ③ 「反映」をクリックします。

※1 NTPサーバのアドレスについてはご加入のプロバイダで運用されているものや、研究機関などで公開されているものをご利用ください。



ワンポイント

- IP電話をご利用になるときは時刻設定の必要はありません。(本設定を行わなくても時刻が合います。)
- NTPサーバの初期設定状態は、インターネットマルチフィード株式会社の「時刻提供サービスfor Pulic」を利用しております。
免責事項等については以下URLをご覧ください。
<http://www.jst.mfeed.ad.jp/>

4 電話の使いかた

本商品と接続した電話機の使用方法を説明します。

電話をかけるには（発信）	4-2
電話を受けるには（着信）	4-3
回線選択について／緊急通報	4-4
お話し中にかかってきた電話を 受けるには	4-5
発信者番号の通知と表示	4-7
かけてきた相手の電話番号を 表示するには （ナンバー・ディスプレイ）	4-8

電話をかけるには（発信）

本商品に電話機を接続して相手の方と通話することができます。

電話をかける（発信）

1 電話機のハンドセット（受話器）を取りあげる

「ツー」という発信音が聞こえます。



2 電話番号を押す



3 呼出音が聞こえる

4 相手の方が出たらお話しする



5 お話しが終わったら、ハンドセット（受話器）を置く



ワンポイント

ダイヤルした番号やIP電話サービスのサービス内容により、IP電話と加入電話が自動選択されます。

- IP電話として発信している場合は呼出音の前に「プププ」という断続音が約1秒聞こえます。（通話料はプロバイダから請求されます。）
- 加入電話として発信している場合は呼出音のみが聞こえるか、または呼出音の前に「プププ」という断続音と「プー」という音が聞こえます。（通話料は、NTT等接続された電話会社から請求されます。）
- 手順1で、「ツー」という音の代わりに「ビービービービーツー」が聞こえる場合は、最新版ファームウェアが公開されています。「バージョンアップ」(P5-1)を参照のうえ、バージョンアップを実施してください。
- 最後の番号を押してから少したつと、電話番号の終了と判定し発信します。すぐに発信させたい場合は、番号に続けて「#」（シャープ）を押してください。



お知らせ

- お使いになっている電話機の種類やオンフックダイヤル（ハンドセット（受話器）を置いたままダイヤルする機能）を用いる等の操作方法によっては、ダイヤルする際に正しく発信できないことがあります。

相手がお話し中のとき

1 電話機のハンドセット（受話器）を取りあげる

「ツー」という発信音が聞こえます。

2 電話番号を押す

3 「ツーツーツー」という音が聞こえる

4 ハンドセット（受話器）を置いて、しばらくたってからかけ直す

電話を受けるには（着信）

電話を受ける（着信）

1 着信音が鳴る



2 ハンドセット（受話器）を取り あげて、相手の方とお話する



3 お話しが終わったら、ハンドセッ ト（受話器）を置く



ワンポイント

- IP電話番号（050から始まる番号）への着信と加入電話番号（従来の市外局番から始まる電話番号）への着信では、着信音が次のとおり違います。
 - ・ 従来の加入電話回線へ着信した場合
「ブルルルー」という着信音が鳴ります。
 - ・ IP電話番号へ着信した場合
「ブルルッブルルッ」という着信音が鳴ります。



お知らせ

- 本商品のナンバー・ディスプレイの設定が「あり」、電話機のナンバー・ディスプレイの設定が「なし」の状態では着信があると、はじめに短い呼出音が5～6回鳴り、このとき電話に出ると切れてしまいます。本商品と電話機の設定を確認してください。
- IP電話番号への着信音は、Webブラウザで本商品にログインして「電話設定」を選択し、サブメニューの「サービス設定」をクリックしたときに表示される画面で、「IP電話着信音選択」を変更することで設定が可能です。（詳細取扱説明書「サービス設定」）
- 加入電話回線で「なりわけサービス」、「空いたらお知らせ159」などに契約されている場合、IP電話サービスをご利用の場合と同じ着信音が鳴る場合があります。

回線選択について／緊急通報

電話番号による回線選択

1で始まる3桁番号（※）やIP電話サービスのサービス対象外の電話番号などをダイヤルした場合は加入電話としての発信になります。

（※「加入電話回線を選択する電話番号」（➡P8-40）を参照してください。）

加入電話回線を選択して発信するには

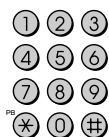
加入電話回線を選択してご利用になりたい場合

1 電話機のハンドセット（受話器）を取りあげる

「ツー」という発信音が聞こえます。



2 「0000」のあとに電話番号を押す



3 呼出音が聞こえる

4 相手の方が出たらお話しする



5 お話しが終わったら、ハンドセット（受話器）を置く



ワンポイント

- マイライン(マイラインプラス)をご利用になる場合は、電話番号の先頭に「0000」（ゼロを4回）付けてから、通常の発信方法で発信してください。この場合、通話料金はマイライン（マイラインプラス）に登録している電話会社から請求されます。

緊急通報（110/118/119）発信時の留意事項

緊急通報（110/118/119）は必ず加入電話として発信されます。

（注1）本商品に加入電話回線が接続されていない場合は通話できません。

（注2）緊急通報後は、ハンドセット（受話器）を置いてもしばらくはIP電話をご利用できない場合があります。

お話し中にかかってきた電話を受けるには

お話し中にかかってきた電話に出る

お話し中でも、かかってきた電話に出ることができます。

- 1** お話し中に「ブップッ……」という着信音が聞こえる



- 3** あとからかけてきた方とお話する



- 2** 相手の方に伝え、フッキングする

最初に話していた方との通話は終了します。



●当社のキャッチホンサービスをご利用の方（キャッチホン設定を「あり」にします。）

着信のパターン		お客様側	発信者側
IP電話で通話中のときに	IP電話に着信があった場合	通話を継続します。	お話し中になります。
	加入電話に着信があった場合	・割り込み音が鳴ります。 ・フッキングまたはオンフックにより、通話を切断し、加入電話の着信に応答することができます。	呼出音が鳴ります。
加入電話で通話中のときに	IP電話に着信があった場合	通話を継続します。	お話し中になります。
	加入電話に着信があった場合	通常のキャッチホンの動作をします。	呼出音が鳴ります。



お知らせ

- 当社のキャッチホンサービスは加入電話の付加サービスです。IP電話への着信やIP電話通話中の加入電話着信では動作しません。

お話し中にかかってきた電話を受けるには

- 当社のキャッチホンサービスをご利用していない方（キャッチホン設定を「なし」にします。）

着信のパターン		お客様側	発信者側
IP電話で通話中のときに	IP電話に着信があった場合	通話を継続します。	お話し中になります。
	加入電話に着信があった場合	・割り込み音が鳴ります。※1 ・フッキングまたはオンフックにより、通話を切断し、加入電話の着信に応答することができます。	呼出音が鳴ります。
加入電話で通話中のときに	IP電話に着信があった場合※4	・割り込み音が鳴ります。※2 ・フッキングまたはオンフックにより、通話を切断し、IP電話の着信に応答することができます。	呼出音が鳴ります。※3
	加入電話に着信があった場合	通話を継続します。	お話し中になります。

※1 割り込み音を「なし」に設定した場合、IP電話の通話を継続します。

※2 割り込み音を「なし」に設定した場合、加入電話の通話を継続します。

※3 割り込み音を「なし」に設定した場合、お話し中になります。

※4 一部の加入電話番号については、加入電話番号通話中の場合、IP電話の着信時に割り込み音が入らないことがあります。



ワンポイント

- 割り込み音を鳴らすには、本商品の割り込み音設定が「あり」に設定されている必要があります。工場出荷時には「あり」に設定されています。不要な場合は、詳細取扱説明書「サービス設定」を参照して設定を変更してください。

発信者番号の通知と表示

発信者番号通知とは、相手先にこちらの電話番号（契約者回線番号、追加番号）を通知する機能です。

■ 通知される電話番号

IP電話で発信した場合は、IP電話番号が通知されます。加入電話で発信した場合は、加入電話番号が通知されます。

■ 電話番号の通知のされかた

発信者番号を通知するかどうかは、加入電話、IP電話へ発信する場合でそれぞれ以下のような条件になります。

1. IP電話として発信する場合

● IP電話の発信時番号通知設定

IP電話の発信時番号通知設定は、非通知／通知の設定の選択ができます。工場出荷時には「通知」の設定となっています。（詳細取扱説明書「サービス設定」を参照してください。）

● 発信時のダイヤル操作

相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）を付けて、通知するかどうかを指定します。

発信者番号通知設定	ダイヤル操作		
	相手番号（通常の操作）	184+相手番号	186+相手番号
通知	○	×	○
非通知	×	×	○

○：通知する ×：通知しない

2. 加入電話として発信する場合

● 加入電話回線ご契約時の内容

加入電話回線のご契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択していただけます。

● 発信時のダイヤル操作

相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）を付けて、通知するかどうかを指定します。

契約	ダイヤル操作		
	0000+相手番号	「0000+184+相手番号」	「0000+186+相手番号」
通常通知（通話ごと非通知）	○	×	○
通常非通知（回線ごと非通知）	×	×	○

○：通知する ×：通知しない



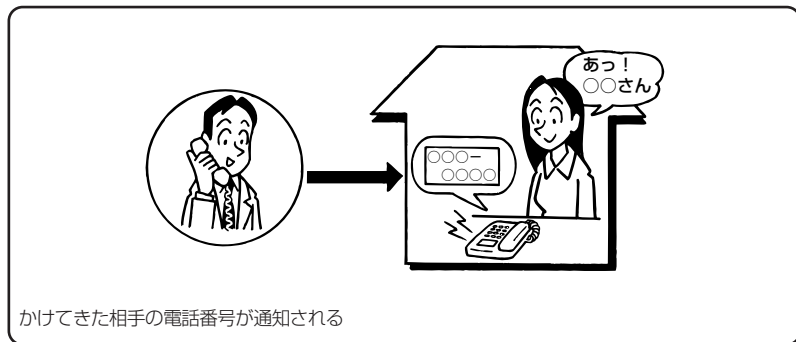
お知らせ

- IP電話へ発信して、ダイヤルした番号がIP電話サービスの対象外で自動的に加入電話へ再発信する場合は、加入電話回線のご契約の通常通知、または通常非通知の条件で発信となります。

かけてきた相手の電話番号を表示するには（ナンバー・ディスプレイ）

着信があった場合、発信者の電話番号をナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。

かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。



● 必要な契約

加入電話への着信時に発信者番号を表示するには、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

なお、IP電話番号への着信時に発信者番号を表示するには、ナンバー・ディスプレイの契約は不要です。（表示可否は、ご契約されたIP電話サービスのサービス内容によります。）

● 必要な設定

- ①TELポートに、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を接続します。
- ②接続した電話機のナンバー・ディスプレイ発信者番号通知設定を行います。
- ③本商品の「かんたん設定」の「ナンバー・ディスプレイ」を「あり」に設定します。



お知らせ

- 発信者情報（番号）が非通知のIP電話着信を拒否したい場合は、詳細取扱説明書「サービス設定」の「IP電話非通知着信拒否」を参照してください。
- IP電話として通話中に、加入電話として着信があった場合は、発信者情報（番号）が表示されません。
- 電話機によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。
- 電話機の表示内容は、お使いの機器によって異なります。

5 バージョンアップ

本商品を最新の状態にバージョンアップすることができます。
本商品をバージョンアップするには、2通りの方法があります。

本商品のバージョンアップ	5-2
自動バージョンアップ機能を 利用してバージョンアップする	5-3
バージョンアップお知らせ機能を 利用してバージョンアップする	5-6
当社ホームページからファームウェアを ダウンロードしてバージョンアップ する	5-15

本商品のバージョンアップ

本商品のファームウェアの更新を行うことができます。

バージョンアップ機能

バージョンアップ機能は以下の4 つに分類されます。

分類	説明
初期設定でのバージョンアップ	本商品を初めてお使いのとき、または本商品が初期設定状態のときに自動で行われるバージョンアップです。(「かんたん設定」(●P3-2)) 以下の場合もバージョンアップを行う場合があります。 ・「動作モード」が「PPPoE」または「アダプタ」に設定されたとき (「ネットワークの設定」(●P8-18)) ・PPPoE手動接続を行ったとき(詳細取扱説明書「状態表示」画面)
自動バージョンアップ	本商品がインターネット上の当社のサーバに登録された最新プログラムを確認したときに、自動で行われるバージョンアップです。(「自動バージョンアップ機能を利用してバージョンアップする」(●P5-3))
手動バージョンアップ	バージョンアップお知らせ機能※で最新プログラムが通知されたときに、お客様自身で行っていただく場合のバージョンアップです。(詳細取扱説明書「状態表示」画面)
当社ホームページからファームウェアをダウンロード	お客様が当社のホームページ上にてバージョンアップを確認し、手動でバージョンアップを行っていただく場合の機能です。(「当社ホームページからファームウェアをダウンロードしてバージョンアップする」(●P5-15))

※「バージョンアップお知らせ機能」とは、本商品が定期的にインターネット上の当社サーバと通信を行い、最新プログラムを確認した場合に、お客様へ通知する機能です。
(「バージョンアップお知らせ機能とは」(●P5-6))



ワンポイント

- バージョンアップしたファームウェアの詳細については、以下のホームページの更新情報を参照してください。

当社ホームページ 【NTT 東日本】 <http://web116.jp/ced/>
【NTT 西日本】 <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>



お知らせ

- バージョンアップ実行中(数分間)はインターネット接続が切断されます。バージョンアップ実行中にダウンロードなどを実行している場合はご注意ください。

自動バージョンアップ機能を利用してバージョンアップする

本商品は、自動的に最新のファームウェアのバージョンアップを行うことができます。

ファームウェアの自動バージョンアップ

「かんたん設定」手順9（●P3-4）の「自動アップデート機能設定」の内容が設定されていますので、変更するときは以下の手順にて行ってください。

- 1 Webブラウザで本商品にログインし、「保守」のサブメニュー「自動アップデート」をクリックして「自動アップデート」画面を表示します。



- 2 現在の自動アップデート機能設定に変更を入れる場合は各項目を設定します。

項 目	内 容	初期値
〈自動アップデート機能設定〉		
実行時刻	設定した時刻に本商品のファームウェアの更新を行います。 「指定あり」の場合指定時刻は10分単位になります。通信をご利用にならない時間帯に設定されることをお勧めします。 設定範囲：指定なし（4時00分～5時00分から無作為に選択します。） / 指定あり(0時00分～23時50分)	指定なし

- 3 すべての設定が終了したら「確認」をクリックします。

内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「確認」をクリックしてください。正しい値を入力した場合は「送信」が有効になります。

- 4 「送信」をクリックします。

- 5 「反映」をクリックします。

再起動終了後、設定した内容が有効になります。

6

バージョンアップを行います。

1日1回更新ファームウェアの確認を行い、更新情報を確認するとバージョンアップお知らせ機能（「バージョンアップお知らせ方法」（●P5-8））にて通知を行います。

「実行時刻」で設定された時刻になると自動でファームウェアのバージョンアップを行います。バージョンアップ中は、本商品前面の、アラーム、PPP、VoIP、電話ランプが同時にゆっくりと点滅します。

ランプの種類	ランプのつき方
アラームランプ	遅い点滅（赤）
PPPランプ	遅い点滅（緑）
VoIPランプ	遅い点滅（緑）
電話ランプ	遅い点滅（橙）

 注意

- この間、電源をOFFにしないでください。回復不能な故障の原因となります。

バージョンアップ終了後は、Web画面が「かんたん設定」に戻ります。また、本商品前面のランプが以下のようなことを確認してください。

ランプの種類	ランプのつき方
電源ランプ	点灯（緑）
アラームランプ	点灯（赤）
PPPランプ	点灯（緑）
VoIPランプ	点灯（緑）
電話ランプ	点灯（橙）
WANランプ	点灯（緑）または 点滅（緑）
INITランプ	消灯
APランプ	消灯

 お願い

- 本商品の電源を落とさずにご利用ください。電源が切れているとファームウェアの更新ができない場合があります。



ワンポイント

- バージョンアップお知らせ後、「実行時刻」で設定された時刻の前に、お客様自身が手動にてバージョンアップを行うこともできます。（詳細取扱説明書「状態表示」画面）を参照してください。
- お客様がIP電話や加入電話で通話中に、「実行時刻」で設定された時刻になった場合、通話終了を待ってからバージョンアップを行います。



お知らせ

- 本商品がファームウェア更新処理中はIP電話をご利用できません。加入電話はご利用いただけます。
- ファームウェアのバージョンアップ内容によっては、自動バージョンアップではなく、「バージョンアップお知らせ方法」（☛P5-8）、もしくは「当社ホームページからファームウェアをダウンロードしてバージョンアップする」（☛P5-15）に記載されている方法にしたがってバージョンアップを行っていただくのがあります。

バージョンアップお知らせ機能とは

本機能は、本商品が定期的に（1日1回）、インターネット上の当社バージョンアップお知らせ用サーバと通信を行い、最新ファームウェアの有無を自動確認する機能です。

バージョンアップされたファームウェアを確認した場合は、以下の方法でお客様に通知します。

(1) 電話機からの音でお知らせする

「バージョンアップお知らせ機能」によって音を送出するを選択した場合に通知音が鳴ります。（詳細取扱説明書「サービス設定」を参照してください）

本商品に接続されたハンドセット（受話器）を取り上げた際に通知音を送出します。

（「ピーピーピーピー」という音が「ツー」という音（DT音）の前に送られます。）

(2) 設定画面でお知らせする

■Webブラウザでログインしたとき

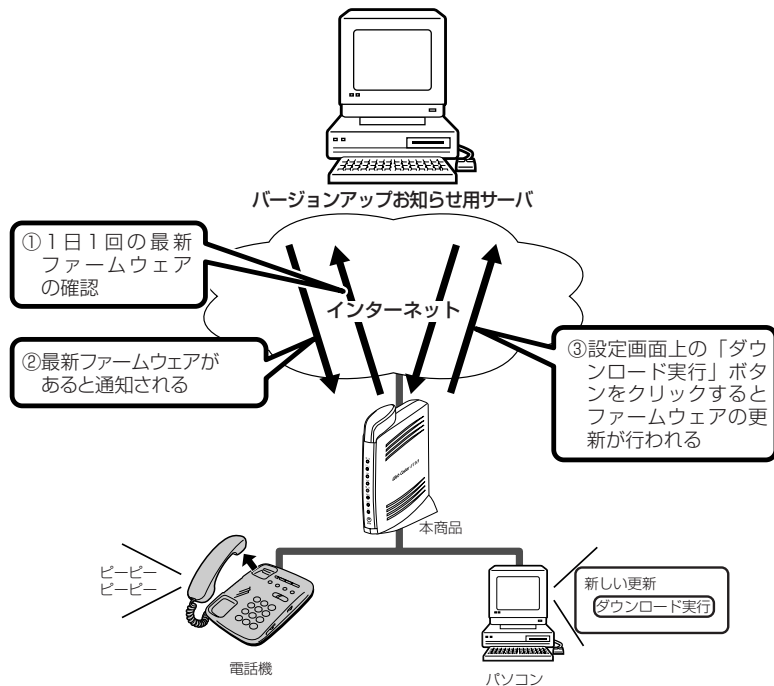
- ・ Webブラウザで本商品へログインした際に表示される設定画面に確認結果を表示します。（「かんたん設定」画面の代わりに「バージョンアップ通知」画面が表示されます。）

■設定画面のメニュー一覧でお知らせする

- ・ 本商品設定画面（メニュー一覧）で確認結果を表示します。（メニュー一覧の上に「新しい更新があります」と表示されます。）
- ・ 本商品設定画面（「状態表示」）で確認結果を表示します。

■設定画面の「状態表示」でお知らせする

（「アップデート状態」の欄に「新しい更新があります」と表示されます。）



バージョンアップお知らせ機能を利用するには

バージョンアップお知らせ機能を使用するために必要な設定について説明します。

1

Webブラウザを起動し、設定画面を開いてください。

アドレス欄には「http://192.168.1.1」を入力してください。

※Web Caster V110のアドレスを変更している場合は、変更したアドレスを入力してください。

2

設定画面左側のメニューから、以下の手順で設定をしてください。



①「電話設定」をクリックする

②「IP電話設定情報」をクリックする

③IP電話設定情報画面の「アップデートURL」に「http://www.cpeinfo.jp/」が入力されているか確認してください。入力されている場合は、操作を終了します。

違うアップデートURLが入力されている場合は、アドレスを入力して以下の手順を引き続き行ってください。

④「確認」をクリックする

⑤「送信」をクリックする

⑥「反映」をクリックする

3

Web Caster V110が再起動します。

再起動が完了すれば、バージョンアップお知らせ機能が動作を開始します。

バージョンアップお知らせ方法

(1) 電話機からの音でお知らせする

「バージョンアップお知らせ機能」によって音を送出するを選択した場合に通知音が鳴ります。(詳細取扱説明書「サービス設定」を参照してください)

電話機のハンドセット(受話器)を取り上げると「ピーピーピーピー」という音が「ツー」という音の前に送出されます。

①電話機(またはファクス)のハンドセット(受話器)をとりあげます。



②「ピーピーピーピー」という音が「ツー」という音(DT音)の前に送出されます。



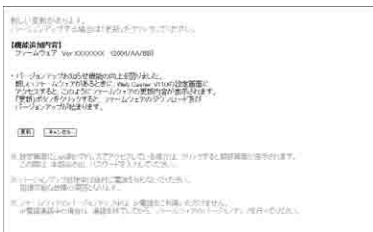
ワンポイント

- 発信操作は通常と変わりません。そのままダイヤルしてください。
- ファームウェア更新を行うと、「ピーピーピーピー」という音は停止します。

(2) 設定画面でお知らせする

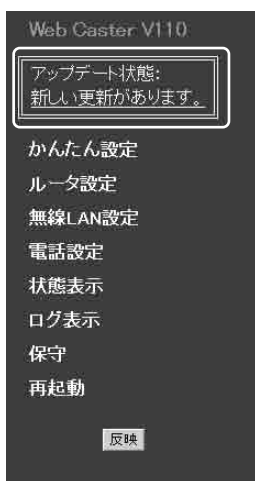
■Webブラウザでログインしたとき

Webブラウザで本商品へログインすると、「かんたん設定」画面の代わりに「バージョンアップ通知」画面が表示されます。画面の表示内容をお読みにになり、「バージョンアップ方法」に従ってバージョンアップを行ってください。



■設定画面のメニュー一覧でお知らせする

設定画面左側にあるメニュー一覧の上に「新しい更新があります」と表示されます。更新内容を確認したあと、「バージョンアップ方法」に従ってバージョンアップを行ってください。



■設定画面の「状態表示」でお知らせする

1 「状態表示」メニューをクリックして「更新確認」をクリックしてください。



※ファームウェア更新「更新確認」が有効な場合、「更新確認」をクリックすると、ファームウェア更新状態を確認することができます。

2 アップデート状態を確認してください。

(1) 「新しい更新があります」の場合：

ファームウェア更新情報があることを示します。更新内容を確認したあと、「バージョンアップ方法」(●P5-10)に従ってバージョンアップを行ってください。

バージョンアップ		
現在のバージョン	最新のバージョン	最新のバージョン
ファームウェアバージョン	00000000	00000000
アップデート状態	新しい更新があります。 クリックして更新を行います。ファームウェアが更新されます。	

(2) 「新しい更新はありません」の場合：

バージョンアップ		
現在のバージョン	最新のバージョン	最新のバージョン
ファームウェアバージョン	00000000	00000000
アップデート状態	新しい更新はありません。	

ファームウェア更新情報はありません。既に最新のファームウェアでご利用いただいています。なお、「更新確認」をクリックすれば、最新の状態を手動で確認することができます。

バージョンアップ方法

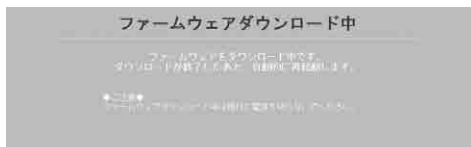
バージョンアップお知らせ機能により、ファームウェア更新情報が確認できたときは、以下の手順でバージョンアップを行ってください。

1 「状態表示」メニューをクリックしてください。

- ①ファームウェア更新：「ダウンロード実行」をクリックしてください。



- ②ファームウェアのダウンロードを実行します。



ダウンロードが正常に終了すると、③へ進みます。

ファームウェアのダウンロードに失敗した場合は「エラーメッセージが表示された場合」（●P5-13）の（注1）（注2）を参照してください。

- ③ファームウェア更新実行中は以下の画面を表示します。



しばらくお待ちください。トップ画面「かんたん設定」画面に戻るまでの時間は更新するファームウェアにより異なります。また本商品のランプ表示が以下になることを確認してください。

ランプの種類	ランプのつき方
電源ランプ	点灯（緑）
アラームランプ	遅い点滅（赤）
PPPランプ	遅い点滅（緑）
VoIPランプ	遅い点滅（緑）
電話ランプ	遅い点滅（橙）
WANランプ	点灯（緑）または点滅（緑）
INITランプ	消灯
APランプ	消灯



お知らせ

- 本商品がファームウェア更新処理中はIP電話をご利用いただけません。加入電話はご利用いただけます。

⚠ 注意

- この間、電源をOFFにしないでください。回復不能な故障の原因となります。

- ④ファームウェア更新が終了すると「かんたん設定」画面に戻ります。
 通話中表示の場合は「エラーメッセージが表示された場合」(●P5-13)の(注3)を参照してください。
 ファームウェア更新に失敗した場合は、「エラーメッセージが表示された場合」(●P5-14)の(注4)(注5)を参照してください。

■各状態からの作業手順は以下の通りです。

(1)「更新を確認しています」の場合：

バージョン		
	現在のバージョン	最新のバージョン
ファームウェアバージョン	2.0.0.0 (01)	2.0.0.0 (01)
アップデート状態	更新を確認しています。	

- ①そのまましばらくお待ちください。(「アップデート状態」の表示が自動的に更新されます。)
 ②「アップデート状態」の表示内容に従って作業をしてください。

(2)「ファームウェアをダウンロード中です」の場合：

バージョン		
	現在のバージョン	最新のバージョン
ファームウェアバージョン	2.0.0.0 (01)	2.0.0.0 (01)
アップデート状態	ファームウェアをダウンロード中です。	

- ①そのまましばらくお待ちください。本商品のランプ表示が以下になることを確認してください。

ランプの種類	ランプのつき方
電源ランプ	点灯 (緑)
アラームランプ	点灯 (赤)
PPPランプ	点灯 (緑)
VoIPランプ	点灯 (緑)
電話ランプ	点灯 (橙)
WANランプ	点灯 (緑) または 点滅 (緑)
INITランプ	消灯
APランプ	消灯



注意

- この間、電源をOFFにしないでください。回復不能な故障の原因となります。

(3) 「更新の確認に失敗しました」の場合：

バージョンアップ		
	現在のバージョン	最新のバージョン
ファームウェアのバージョン	00000000	00000000
アップデート状態	更新の確認に失敗しました。	

① 「更新確認」をクリックしてください。

(更新された「アップデート状態」の表示内容に従って作業をしてください。)

再度同じ表示がされる場合はWebブラウザを終了し、本章の最初からやり直してください。
事象が改善されない場合は、URLが正しく設定されているか確認してください。

(4) 「ファームウェアの更新に失敗しました」の場合：

バージョンアップ		
	現在のバージョン	最新のバージョン
ファームウェアのバージョン	00000000	00000000
アップデート状態	ファームウェアの更新に失敗しました。	

① 「更新確認」をクリックしてください。

(更新された「アップデート状態」の表示内容に従って作業をしてください。)



お知らせ

- プロバイダから指定されたバージョンアップお知らせ用URLをご確認ください。指定されない場合は、「<http://www.cpeinfo.jp/>」としてください。このURLを「IP電話設定情報」の「アップデート確認用URL」（詳細取扱説明書「IP電話設定情報」を参照）に設定すると、動作を開始します。また、「アップデート確認用URL」を空欄にすると、この機能を止めることができます。



ワンポイント

- 電話機からファームウェアを更新するには
電話機から「* * * 11」とダイヤルすることでファームウェアを更新することができます。詳細取扱説明書の「機能仕様」の「ファームウェア更新（バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする）」を参照してください。
- ファームウェアの確認は1日1回なのでファームウェア提供のタイミングによっては、最新の情報が表示されない場合があります。その場合は「更新確認」ボタンをクリックし、最新状態を確認してください。
- ネットワークやサーバの状態によっては、更新に失敗することがあります。
- プログラム更新は映像コンテンツの視聴などのサービスを停止させてから行ってください。同時に行い本商品に負荷がかかった場合に、プログラム更新に時間がかかる場合があります。

■エラーメッセージが表示された場合

(注1) ファームウェアのダウンロードに失敗した場合

以下のような表示の場合は、画面中の「戻る」をクリック（「状態表示」画面へ戻ります。）し、再度実施してください。



お知らせ

- 再度手順を行ってもエラーが表示される場合は、「ファームウェアのダウンロード方法」(●P5-15)の手順に従ってバージョンアップを行ってください。

(注2) ファームウェアのダウンロードに失敗した場合

(注1)で「戻る」をクリックするとダウンロード状態は、「ファームウェアのダウンロードに失敗しました」を表示します。

バージョン		
	現在のバージョン	最新のバージョン
ファームウェアバージョン	000000000000	000000000000
アップデート状態	ファームウェアのダウンロードに失敗しました。	

(注3) 通話中の場合

通話中の場合は以下の画面が表示されます。通話終了後、自動的にファームウェア更新が再開されます。ファームウェア更新終了後も下記画面が表示されますので、本商品の設定が必要な場合は、再度Webブラウザで本商品にログインしてください。



(注4) ファームウェアの更新に失敗した場合

以下のような表示の場合は、画面中の「戻る」をクリック（「状態表示」画面へ戻ります。）し、「再起動」メニューから再起動を実施してください。再起動後、再度実施してください。



お知らせ

- 再度手順を行ってもエラーが表示される場合は、「ファームウェアのダウンロード方法」(P5-15)の手順に従ってバージョンアップを行ってください。

(注5) ファームウェアの更新に失敗した場合

(注4)で「戻る」をクリックするとダウンロード状態は、「ファームウェアの更新に失敗しました」を表示します。

バージョンアップ		
項目	現在の状況	最終的な状況
ファームウェアバージョン	1.0.0.0 (旧)	1.0.0.0 (新)
ダウンロード状態	ファームウェアの更新に失敗しました。	



お知らせ

- 再度手順を行ってもエラーが表示される場合は、「ファームウェアのダウンロード方法」(P5-15)の手順に従ってバージョンアップを行ってください。

当社ホームページからファームウェアを ダウンロードしてバージョンアップする

当社ホームページからパソコンへいったんファームウェアをダウンロードしたあとで、パソコンから本商品に反映します。

(注) バージョンアップの時期・方法などにつきましては、以下のホームページをご確認ください。

当社ホームページ： <http://web116.jp/ced/>

： <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

ファームウェアのダウンロード方法

ファームウェアを任意のフォルダへあらかじめダウンロードします。

ダウンロードするファイルが現在使用しているファームウェアよりも新しいことを確認してください。

最新のファームウェアは当社ホームページで確認できます。ファームウェアのバージョンをクリックするとダウンロードが実施できます。

ダウンロードファイル

- ソフトウェア<ファームウェア> Ver.

※ 現在ご使用のファームウェアバージョンは、Webブラウザで本商品にログインし、画面左メニューの「状態表示」から確認してください。

バージョンアップ方法

- 1 画面左メニューの「保守」をクリックします。
サブメニューが表示されます。



- 2 サブメニューから「ファームウェア更新」をクリックします。
- 3 「ファームウェア更新」画面が表示されます。



- 4 「参照」をクリックして前ページの手順で指定したフォルダを指定し、ダウンロードしたファームウェアを選択します。

5 「送信」をクリックします。

以下の画面が表示された場合は「戻る」をクリックして、手順1の画面からやり直してください。
再度エラーが表示された場合はWebブラウザを終了し、手順1からやり直してください。



6 「ファームウェア更新」画面が表示されるので、「実行」をクリックします。



通話中に「実行」をクリックしても無効になります。以下の画面が表示されるので「戻る」をクリックし、通話終了後再試行してください。



以下の画面が表示される場合はファームウェア更新が異常終了しました。
画面の「戻る」をクリックし、再度手順1からやり直してください。エラーが表示される場合はWebブラウザを終了し、手順1からやり直してください。



以下の画面が表示される場合はファームウェア更新が異常終了しました。画面中の「戻る」をクリック（「かんたん設定」画面へ戻ります。）し、「再起動」メニューから再起動を実施してください。再起動後、再度手順1から実施してください。エラーが表示される場合はWebブラウザを終了し、手順1からやり直してください。



(次ページに続く)

当社ホームページからファームウェアを
ダウンロードしてバージョンアップする

7 実行中は以下の画面を表示します。

しばらくお待ちください。トップ画面（「かんたん設定」画面）に戻るまでの秒数はファームウェア更新の内容により異なります。

**注意**

●この間、電源をOFFにしないでください。回復不能な故障の原因となります。

8

ファームウェア更新が終了すると「かんたん設定」画面に戻ります。

**お知らせ**

●本商品がファームウェア更新処理中はIP電話をご利用いただけません。加入電話はご利用いただけます。

**ワンポイント**

●プログラム更新は映像コンテンツの視聴などのサービスを停止させてから行ってください。同時に行い本商品に負荷がかかった場合に、プログラム更新に時間がかかる場合があります。

6 無線LANを利用する

本商品を無線LANのアクセスポイントとして
利用する場合の設定について説明します。

LANケーブルを使用した設定	6-2
本商品とパソコンの設定	6-3
LANケーブルを使用しない設定	6-28

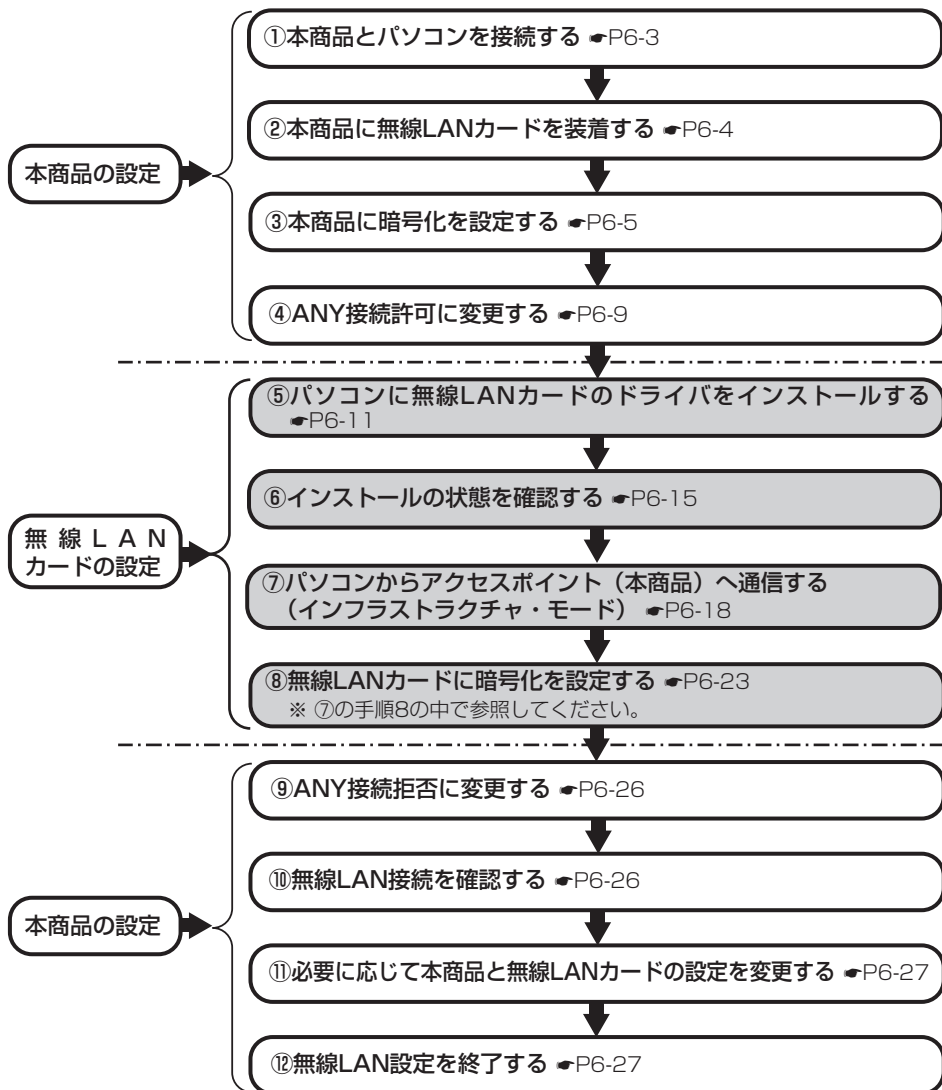
LANケーブルを使用した設定

本商品を無線LANアクセスポイントとして利用する場合の設定について説明します。
本商品の無線LAN機能を使用するには、専用の無線LANカード（Web Caster FT-STC-Va/g 無線LANカード（以下、「無線LANカード」といいます））が必要となります。

※本書ではパソコンのOS にWindows Vista®を使用した場合を前提に説明しています。他のOS
をご使用になる時は無線LANカードの取扱説明書または詳細取扱説明書を参照してください。

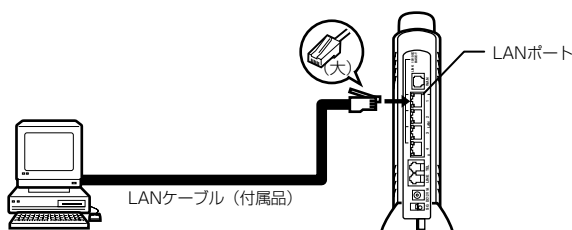
※無線LANカードのドライバ・ユーティリティは変更される場合があります。そのときは
ホームページからドライバ・ユーティリティおよび設定マニュアルを入手してください。

※以下に示した手順の流れは、パソコンと本商品をLANケーブルで接続して本商品と無線
LANカードを設定する基本的な方法になります。



① 本商品とパソコンを接続する

LANケーブルを使用し、無線LANカードを装着するパソコンのLAN側接続ポートと本商品背面にあるLAN側接続ポートを接続してください。



- 本商品に接続するパソコンはCD-ROMドライブを内蔵しているものをご使用ください。（お使いのパソコンがCD-ROMドライブを内蔵していない場合は、CD-ROMドライブもご用意ください。）
また、本商品に接続するパソコンが以下の条件を満たすものであることをご確認ください。

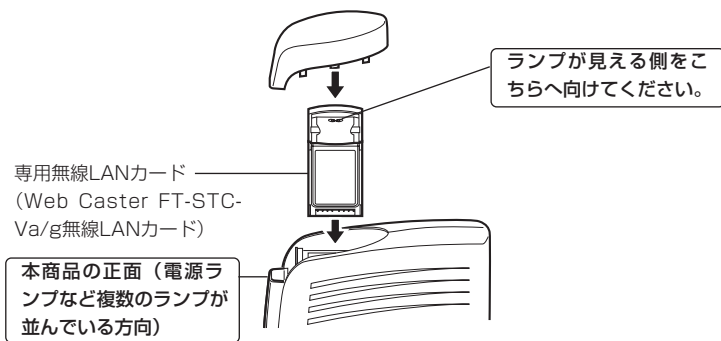
PCカード スロット	インタフェース	PC Card Standard (CardBus) ・ Type II
	使用電源	DC3.3V±5% (パソコンから供給) DC5V 仕様のPC カードスロットではお使いになれません。
OS		Windows® 98SE/Windows® Me/Windows® 2000 professional/ Windows® XP/Windows Vista® (日本語版) *Mac OS はご利用になれません。

本商品とパソコンの設定

② 本商品に無線LANカードを装着する

まず、本商品の電源を切ってください。

本商品の専用無線LAN カードスロットに無線LAN カードを装着し、本商品の電源を入れてください。



STOP お願い

- 本商品は無線LANカード（Web Caster FT-STC-Va/g）を使用した無線LAN接続のみ動作保証いたします。その他の無線LAN製品、パソコン内蔵の無線機能等との接続は保証いたしませんのでご注意ください。
- 内蔵無線での通信については、お使いのパソコンのメーカーにお問い合わせください。

お知らせ

- 無線LANカードは上図の通りに正しい向きで挿入してください。誤った方向で挿入すると本商品や無線LANカードが破損する可能性があります。
- 無線LANカード装着後、本商品に電源を投入してから6～10分の間はインターネットがご利用になれません。
- 本商品の電源を切断する前に、Webブラウザで本商品にログインし、「状態表示」画面の「PPP手動接続」で「切断」をクリックすれば、次回電源投入時にすぐインターネットをご使用いただけます。（詳細取扱説明書「PPPoE設定」）
- 本商品から無線LANカードを外すときには、必ず本商品の電源を切ってから外してください。

③本商品に暗号化を設定する

アクセスポイント（本商品）に暗号化の設定を行います。

無線LAN通信は、無線を利用しているために、ケーブルの配線工事が不要というメリットがあります。ただし、通信内容の暗号化をしていない場合には、電波の届く範囲であれば通信内容を傍受される危険性が考えられます。

そのため、専用の無線LANカードをお使いになる際には必ず暗号化（WEP/WPA）の設定を行ってください。なお、WEPの暗号化プロトコルより、セキュリティが強化されているWPAの暗号化プロトコルのTKIPを推奨しています。

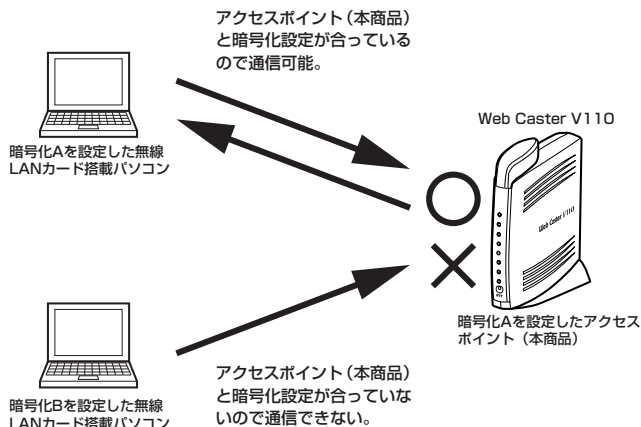
●WEP(Wired Equivalent Privacy)

無線LAN規格（IEEE802.11）で規格化されている暗号化方式の一つです。直訳は、“有線LANと同等のプライバシー機能”となり、無線LANに対するセキュリティの有効な手段とされています。WEPを設定することで、無線電波が第三者に傍受されても、暗号を解読しないとデータの中身を判読することができなくなり、また無線LANに侵入することもできません。WEP機能は、パソコン等および無線LANアクセスポイント側の両方に『WEPキー（WEP暗号化鍵）』を設定する必要があります。本商品は、64ビットおよび128ビット長のWEPキーをサポートしています。各ビット長のうち、お客様が設定できるWEPキー長は、それぞれ「40 bit (5 byte)」、「104 bit(13 byte)」となります。残りの24ビットはIV（Initialization Vector）といわれる自動的にパソコンや無線LANアクセスポイントにより付加されるデータとなります。設定されるWEPキーの長さが長いほど、暗号は強力なものとなります。

●WPA（Wi-Fi Protected Access）

WPAとは、WEPの脆弱性を改善した暗号化方式です。

ユーザ認証機能の追加や、「PSK（事前共有キー）」を元に作成する暗号キーを一定時間毎に自動的に更新するTKIP(Temporal Key Integrity Protocol)と呼ばれる暗号化プロトコルを採用することにより、セキュリティ強度が向上します。



アクセスポイント（本商品）の暗号化設定

- Webブラウザで本商品にログインし、画面左メニューから「無線LAN設定」を選択し、サブメニューの「暗号化設定」をクリックしてください。下記画面が表示されるので、暗号化設定を実施してください。

以下では、暗号方式に「TKIP+PSK」を選択し、「PSK（事前共有キー）」に「abcdefgh」、キー更新間隔（暗号キーの更新周期）を「10分」に設定した場合の例を示します。設定した「PSK（事前共有キー）」はお手元に記録しておいてください。

暗号化設定

ヘルプ

暗号方式: OFF, WEP, **TKIP+PSK** ← 「TKIP+PSK」をチェックします

WEP

WEPキータイプ: *自動設定(Pass Phrase) / 直接入力

暗号化ビット長: 64 / 128

WEPキー Pass Phrase

WEPキー設定情報

入力方式: 文字入力 / 10進数(HEX)入力

キーインデックス: 0, 1, 2, 3, 4

WEPキー1

WEPキー2

WEPキー3

WEPキー4

WPA-PSK情報

PSK(事前共有キー): **abcdefgh** ← 「abcdefgh」を入力します

キー更新間隔: **10** ← 「10」を入力します

適用 保存

- 暗号化方式を選択し、必要な項目を設定します。

項目	内容	初期値
暗号方式 ※ここでは、「TKIP+PSK」を選択します。	データの暗号方式の種別を設定します。 「OFF」を選択：暗号化を行いません。 「WEP」を選択：「WEP」項目の設定を行ってください。 「TKIP+PSK」を選択：「WPA-PSK情報」項目の設定を行ってください。 セキュリティ強度はOFF < WEP < TKIP+PSKの順に高くなります。 設定範囲：OFF/WEP/TKIP+PSK	OFF
<WEP>		
WEPキータイプ	WEPキータイプの方式を設定します。 「自動設定（Pass Phrase）」を選択：「WEPキーPass Phrase」項目にPass Phraseデータを入力してください。 「直接入力」を選択：「WEPキー設定情報」項目にWEPキーデータを入力してください。 設定範囲：自動設定（Pass Phrase）/直接入力	自動設定（Pass Phrase）
暗号化ビット長	WEPキーのビット長を設定します。WEPキーのビット長が長い程、セキュリティレベルは高くなります。 設定範囲：64/128	64

項 目	内 容	初期値
WEPキーPass Phrase	WEP キーのPassPhrase (パスワードを長くしたもの) を設定します。設定後に「WEPキー生成」をクリックしてください。WEP キーを生成します。 BIT数=64のときは4種類のキーを生成します。 (「WEPキー1」～「WEPキー4」にキー情報が入ります。) BIT数=128のときは1種類のキーを生成します。 (「WEPキー1」～「WEPキー4」には同じキー情報が入ります。) 利用可能文字：1～31文字、半角英数字およびASCIIコードの記号 (ただし、記号「 」および「:」「空白」は不可) ※ASCIIコードの詳細については本書「付録」の「ASCIIコード表」を参照してください。	なし
〈WEPキー設定情報〉		
入力方式	WEPキーの形式を選択します。 利用可能文字：16進数 (HEX) /文字入力 ※文字入力とは半角英数字およびASCIIコードの記号 (ただし、「 」および「:」を除く) で入力し、16進数とは例えば123abc といった0～9 の数字とA～F (もしくはa～f) のアルファベットで表現された数値で入力する方法です。 ※ASCIIコードの詳細については本書「付録」の「ASCIIコード表」を参照してください。	16進数 (HEX)
キーインデックス	下記WEPキー1～4のどれを使用するか選択します。 設定範囲：1～4	1
WEPキー1	入力方式がHEXの場合： 利用可能文字：A-F,0-9、a-f ビット数：64ビット指定時：10桁 128ビット指定時：26桁	なし
WEPキー2	入力方式が文字入力の場合： 利用可能文字：半角英数字およびASCIIコードの記号 (ただし、記号「 」および「:」は不可) ビット数：64ビット指定時：5桁 128ビット指定時：13桁	
WEPキー3	※ASCIIコードの詳細については本書「付録」の「ASCIIコード表」を参照してください。	
WEPキー4		
〈WPA-PSK情報〉		
PSK (事前共有キー) ※ここでは「abcdefgh」と入力します。(お客様が設定する際は、任意の値を入力してください。)	PSK (事前共有キー) を設定します。 PSK (事前共有キー) として任意の文字列を設定します。このキーを元に一定時間ごとに暗号を自動的に変更します。 設定後に下記のキー更新間隔の値を入力してください。この値毎に暗号を変更します。 利用可能文字：8～63文字、半角英数字およびASCIIコードの記号 (ただし、記号「 」および「:」「空白」は不可) ※ASCIIコードの詳細については本書「付録」の「ASCIIコード表」を参照してください。	なし
キー更新間隔 ※ここでは、「10」と入力します。	暗号キーの更新時間を設定します。 設定範囲：0～60 (分)	0 (更新なし)

(次ページに続く)

- 3 すべての設定が終了したら「確認」をクリックします。
内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「確認」をクリックしてください。正しい値を入力した場合は「送信」が有効になります。
- 4 「送信」をクリックします。
- 5 「反映」をクリックします。
再起動終了後、設定した内容が有効になります。



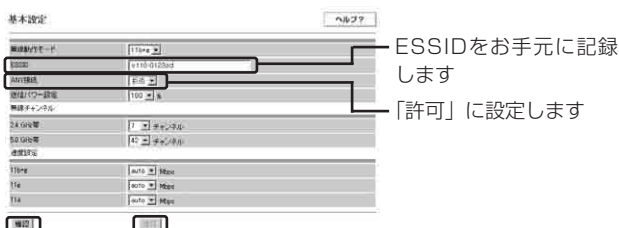
お知らせ

- 設定を変更する場合は無線LANカードを装着したパソコンの設定も変更してください。変更しないと通信できなくなります。(設定方法は無線LANカードの取扱説明書または詳細取扱説明書を参照してください。)

④ ANY接続許可に変更する

ここでは、一時的に無線LAN カードからのANY 接続を許可する設定にします。

- Webブラウザで本商品にログインし、左メニューから「無線LAN設定」を選択し、サブメニューの「基本設定」をクリックしてください。下記画面が表示されるので、ANY接続を一時的に「許可」と設定します。また、ESSIDの欄に表示されている内容をお手元に記録しておいてください。



2 必要に応じて「基本設定」を変更します。

項 目	内 容	初期値
無線動作モード	無線動作モード種別を設定します。 設定範囲：11b+g (IEEE802.11bおよびIEEE802.11g) 11g (IEEE802.11g) / 11a (IEEE802.11a)	11b+g
ESSID ※上図の例では、ESSIDは「V110-0123ad」となっています。これをお手元に記録しておいてください。	無線LAN機器が、通信するお互いを識別するIDとしてネットワーク名 (ESSID) を設定します。このネットワーク名が一致しないと無線通信ができません。 初期状態は「V110-xxxxxx」xxxxxxは本商品のMACアドレスの下3バイトとなっています。 一般にネットワーク名は検索することができますので、セキュリティ上、他のパソコンからのアクセスを防止するため、一定期間ごとに変更することを推奨します。 利用可能文字：1～32文字、半角英数字およびASCIIコードの記号(ただし、記号「!」および「:」「空白」は不可) ※ASCIIコードの詳細については本書「付録」の「ASCIIコード表」を参照してください。	V110-xxxxxx (xxxxxxは本商品のMACアドレス下3バイト)
ANY接続 ※上図の例では、「許可」に設定を変更しています。	無線LANカードを装着したパソコンからのANY接続を許可するかどうかを設定します。 設定範囲：許可/拒否	拒否
送信パワー設定	送信パワーを設定します。 設定範囲：100/50/25 (%)	100
<無線チャンネル>		
2.4GHz帯	2.4GHz帯の設定をします。 設定範囲：1～13 (チャンネル)	左記の設定範囲から装置固有の値が設定されます。

6
利用
する
無線
LAN
を

(次ページに続く)

本商品とパソコンの設定

項 目	内 容	初期値
5.0GHz帯	5.0GHz帯の設定をします。 設定範囲：34/38/42/46（チャンネル）	左記の設定範囲から装置固有の値が設定されます。
〈速度設定〉		
11b+g	通信速度を自動設定します。（auto）	auto
11g	設定範囲： auto/54/48/36/24/18/12/9/6	auto
11a	設定範囲： auto/54/48/36/24/18/12/9/6	auto

3 すべての設定が終了したら「確認」をクリックします。

内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「確認」をクリックしてください。正しい値を入力した場合は「送信」が有効になります。

4 「送信」をクリックします。

5 「反映」をクリックします。

再起動終了後、設定した内容が有効になります。



お知らせ

- ESSIDの設定を変更する場合は無線LANカードを装着したパソコンの設定も変更してください。変更しないと通信できなくなります。
- ESSIDとは、本商品と無線LANカードとが通信時に使用するネットワーク識別用のIDです。本商品にESSIDを設定しておき、接続するパソコン等にも同じSSIDを設定しておけば、通信が可能になります。このように、接続する本商品をESSIDで指定することができます。ESSIDは、セキュリティ機能の一つに分類される場合もありますが、あくまでも接続先の識別機能ですので、ESSIDを設定後に、他のセキュリティ設定をすることをお勧めします。
- ANY接続とは、パソコンに装着した無線LANカードの設定で、接続先アクセスポイントのESSIDを空欄に設定した場合に、クライアント端末から電波が届く範囲にいるアクセスポイントの中で最も電波状態が良いアクセスポイントに接続する方法のことです。ANY接続を「許可」に設定しておくこと、アクセスポイントのESSIDがわからなくとも接続が可能ですので、セキュリティ面から見ると好ましくなく、正常に無線通信の設定ができたあとはアクセスポイント側でANY接続を「拒否」にすることをお勧めいたします。ANY接続を「拒否」に設定している場合は、ANY接続で接続する事はできません。また、アクセスポイント側にWEPキー等の暗号化設定がなされている場合、設定内容を一致させないと通信を行うことはできません。

⑤パソコンに無線LANカードのドライバをインストールする

ここからは無線LANカードの設定になります。

パソコンに無線LANカードのドライバをインストールします。

※以降はOSにWindows Vista®を使用した場合で説明しています。

他のOSをご使用になるときは専用の無線LANカードの取扱説明書またはCD-ROMに収録されている詳細取扱説明書を参照してください。（「Web Caster FT-STC-Va/g取扱説明書または詳細取扱説明書」の「ドライバをインストールしましょう」）

●インストールする際には以下の点にご注意ください。

- ・ CD-ROMをドライブにセットしてもメニュー画面が表示されない場合は[スタート] — [コンピュータ] をクリックして、[FT-STC-Va_g] アイコンをダブルクリックするとメニュー画面が表示されます。
- ・ インストールを行う前に、全てのアプリケーションを終了させてください。
- ・ 専用無線LANカード（Web Caster FT-STC-Va/g 無線LANカード）はスタンバイモードには対応していません。
インストールする前に、ご使用のパソコンの取扱説明書等をお読みになり、スタンバイモードを解除しておいてください。



お知らせ

- セキュリティソフト（ウイルスチェックプログラム等）が起動している状態でインストールを行うと正常にインストールが完了しない場合があります。インストール作業はセキュリティソフト（ウイルスチェックプログラム等）を一時的に終了してから行ってください。

（次ページに続く）

本商品とパソコンの設定

- 1 パソコンの電源を投入し、Windows Vista®を起動します。その際、必ず Administrator権限のあるユーザでログインしてください。



お知らせ

- この時点では、本商品（カード本体）をPCカードスロットに挿入しないでください。パソコンの電源をONにする前、もしくはOSが起動した時点で本商品を挿入した場合、ドライバのインストールに失敗する恐れがあります。

- 2 CD-ROMドライブに付属のCD-ROMをセットすると、次のメニュー画面が自動的に起動します。

メニュー画面が表示されない場合は、「自動再生」画面の[FT-STC-Va_g.exeの実行]をクリックしてください。

起動しましたら、[ドライバとユーティリティのインストール]をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。



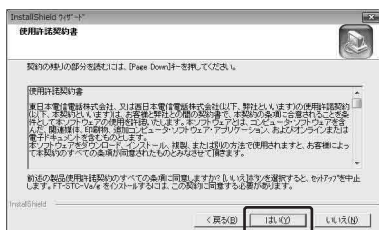
3

インストール確認画面が開きます。[次へ] をクリックします。



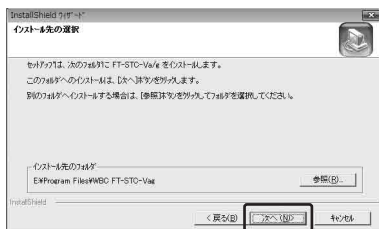
4

「使用許諾契約書」画面が開きます。
内容を確認の上、よろしければ[はい] をクリックします。



5

「インストール先の選択」画面が開きます。
ドライバのインストール先を変更される場合は[参照...] をクリックして、インストール先を指定します。変更の必要がなければ、[次へ] をクリックします。



6
無線
LAN
を
利
用
す
る

(次ページに続く)

本商品とパソコンの設定

- 6** インストールが完了すると「セットアップの完了」画面が表示されます。
[完了] をクリックしてください。その後、P6-12手順2で表示されている
画面下の [END] をクリックし、Web Caster FT-STC-Va/g専用CD-
ROMをパソコンから取り出します。



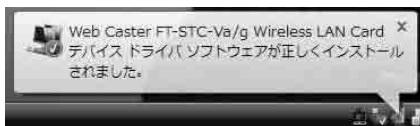
- 7** 本商品（カード本体）のラベル面を上にして、PCカードスロットの奥まで
挿入します。



お知らせ

- PCカードスロットの位置・使用方法については、お使いのパソコンにより異なります。わからない場合にはパソコンの取扱説明書等をご覧ください。

※無線LANカードが正しく認識されると、メッセージが表示される場合があります。



以上でインストール作業は完了しました。

引き続き、次ページの「⑥インストールの状態を確認する」にお進みください。



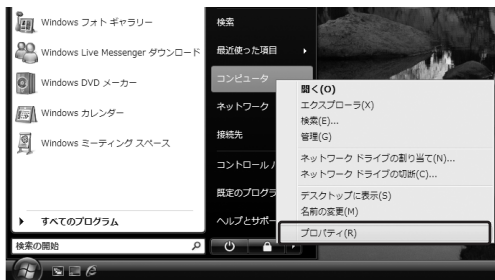
お知らせ

- インストール手順でダイアログボックスが表示されない場合は、「Alt+Tab」キー、または「Alt+ESC」キーで画面を切り替え、ダイアログボックスを前面に表示して設定を行ってください。

⑥インストールの状態を確認する

以下の画面例は、Windows Vista® Home Premium標準モードでの画面イメージで説明しています。クラシックモードに画面を設定した場合は、手順が異なります。

- 1** [スタート]をクリックし、[コンピュータ]上で右クリックして、[プロパティ]を選択します。



お知らせ

- Windows® XPをお使いの場合は、[スタート]をクリックし、[マイコンピュータ]上で右クリックして、[プロパティ]を選択してください。
- Windows® 2000/Me/98SEのOSをお使いの場合は、[マイコンピュータ]上で右クリックして、[プロパティ]を選択してください。

- 2** 「システム」の画面上の[設定と変更]をクリックします。「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]ボタンをクリックしてください。



(次ページに続く)

本商品とパソコンの設定

- 3** 「システムのプロパティ」の画面上の【ハードウェア】タブをクリックします。



- 4** デバイスマネージャの項の【デバイスマネージャ】をクリックします。



5

「デバイスマネージャ」の「ネットワーク アダプタ」をダブルクリックし、「Web Caster FT-STC-Va/g Wireless LAN Card」があることを確認します。



お知らせ

- もし「Web Caster FT-STC-Va/g Wireless LAN Card」のアイコンの前に“!”マークがついている場合は、何らかの問題が発生しています。
その際には、パソコンの再起動をしたり、ドライバの再インストールを行ってください。

⑦パソコンからアクセスポイント（本商品）へ通信する （インフラストラクチャ・モード）

インフラストラクチャ・モードとは、無線LANカードを搭載したパソコンからアクセスポイント（本商品）を介し、無線LAN上で通信を行う場合に設定するモードです。

ここでは、無線LANカードを装着したパソコンから、アクセスポイント（本商品）に無線LANで接続するための設定をします。

1 本商品の電源が入っていることを確認します。

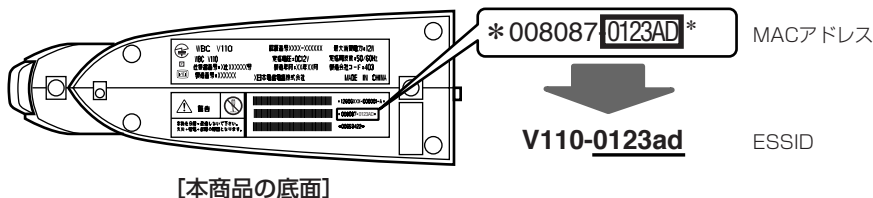
2 本商品のESSID（ネットワーク名）を確認します。

本商品のESSID（ネットワーク名）を記録しておいてください。

※本商品のESSIDについては、工場出荷時に「V110-【MACアドレスの下6桁（英数小文字）】」で設定されています。

●MACアドレスの確認方法

本体底面にシールが2箇所貼り付けてあり、バーコードがあるシールにMACアドレスが記載されています。中央のバーコードの右に書いてあるものがMACアドレスになります。



【本商品の底面】

シールの表示が上記の場合は、本商品のESSIDは「V110-0123ad」となります。

※ESSIDの「V110-」のアルファベットは大文字、「0123ad」のアルファベットは小文字となりますのでご注意ください。



お知らせ

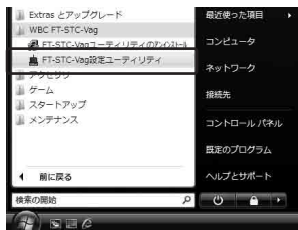
- ESSIDとは、本商品と無線LANアクセスポイントとが通信時に使用するネットワーク識別用のIDです。無線LANアクセスポイントにESSIDを設定しておき、その無線LANアクセスポイントと接続するパソコン等にも同じESSIDを設定しておけば、通信が可能になります。このように、接続する無線LANアクセスポイントをESSIDで指定することができます。ESSIDは、セキュリティ機能の一つに分類される場合がありますが、あくまでも接続先の識別機能ですので、ESSIDを設定後に、他のセキュリティ設定をすることを勧めます。

3

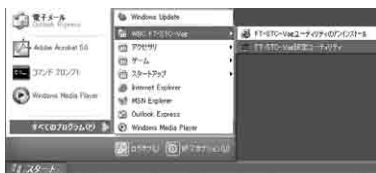
タスクトレイのユーティリティアイコンをダブルクリックします。

アイコンが表示されていない場合は以下の操作で表示することができます。

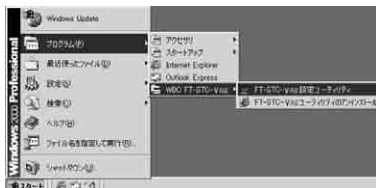
- ・ Windows Vista®をご使用の場合は、[スタート]→[すべてのプログラム]→[WBC FT-STC-Vag]→[FT-STC-Vag設定ユーティリティ]をクリックしてください。



- ・ Windows® XPをご使用の場合は、[スタート]→[すべてのプログラム]→[WBC FT-STC-Vag]→[FT-STC-Vag設定ユーティリティ]をクリックしてください。



- ・ Windows® 2000/Me/98SEをご使用の場合は、[スタート]→[プログラム]→[WBC FT-STC-Vag]→[FT-STC-Vag設定ユーティリティ]をクリックしてください。



4

ユーティリティの画面が開きます。



(次ページに続く)

本商品とパソコンの設定

- 5 上部の「設定」タブをクリックします。工場出荷時は何も入っていないので、「追加」をクリックしてネットワーク設定を行います。



- 6 ネットワーク設定を行います。プロファイル名は任意の英数字を入力してください。入力が完了したら「次へ」をクリックしてください。



- 7 事前に調べておいたアクセスポイント（本商品）のネットワーク名（ESSID）をSSIDの欄に入力します。入力が完了したら「次へ」をクリックしてください。



8

【次へ】をクリックしてください。

アクセスポイント（本商品）が暗号化されている場合は、後述の「⑧無線LANカードに暗号化を設定する」に従って認証モードを変更してください。



9

【完了】をクリックしてください。



お知らせ

- 本ユーティリティを使用してIPアドレスを設定する場合はIPアドレス設定メニューから[設定する]を選択した後、[次へ]ボタンをクリックしてIPアドレス入力画面で設定を変更してください。

6
無線
LAN
を
利
用
す
る

(次ページに続く)

本商品とパソコンの設定

- 10** 設定した内容が反映されることを確認してください。リストから追加したネットワーク設定を選択した状態で、[接続]をクリックしてください。

通信をしているネットワーク名の前には  印がつかます。



- 11** 手順10で表示されている画面上部の「設定選択」タブをクリックし、「詳細…」をクリックします。詳細情報が表示されますので「無線LAN情報」の信号強度と通信品質が表示されていることを確認した後、「戻る」をクリックし、ウィンドウを閉じます。



以上で、アクセスポイント（本商品）との無線LAN接続関連の設定は終了です。

通信内容の暗号化設定を行う場合は、引き続き「⑧無線LANカードに暗号化を設定する」をお読みください。



お知らせ

- タスクトレイに格納されているアイコンを確認することでも通信状態を確認することができます。



： 無線LANネットワークに接続中



： 無線LANネットワークを検索中

⑧無線LANカードに暗号化を設定する

無線LANカードに暗号化を設定します。

ここではアクセスポイント（本商品）に暗号方式TKIP+PSK、PSK（事前共有キー）「abcdefgh」を設定したときの設定例を示します。

それ以外の項目を選択する場合は、「Web Caster FT-STC-Va/g」のマニュアルを参照してください。



お知らせ

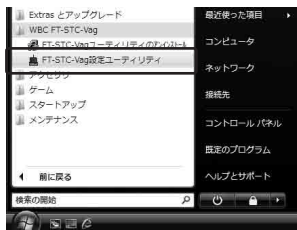
- 暗号化方式でWPAを使用するには、Windows® XPサービスパック1以上とWPAサポート修正プログラムをあらかじめインストールしておく必要があります。本書は上記サービスパックおよび修正プログラムがご使用のパソコンにインストールされていることを前提に記述しています。
- WPAサポート修正プログラムについてはマイクロソフト社のサポート技術情報 826942「Windows XP の WPA ワイヤレス セキュリティ アップデートの概要」を参照してください。マイクロソフト社のホームページ（<http://www.microsoft.com/japan/>）で、「サイトの検索」欄に 826942 と入力し、「検索」をクリックすることで参照できます。

1

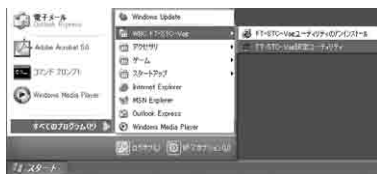
タスクトレイのユーティリティアイコン  をダブルクリックします。

アイコンが表示されていない場合は以下の操作で表示することができます。

- ・ Windows Vista®をご使用の場合は、[スタート]→[すべてのプログラム]→[WBC FT-STC-Vag]→[FT-STC-Vag設定ユーティリティ]をクリックしてください。

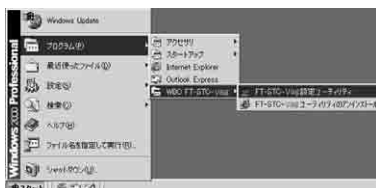


- ・ Windows® XPをご使用の場合は、[スタート]→[すべてのプログラム]→[WBC FT-STC-Vag]→[FT-STC-Vag設定ユーティリティ]をクリックしてください。



本商品とパソコンの設定

- ・ Windows® 2000/Me/98SEをご使用の場合は、[スタート]→[プログラム]→[WBC FT-STC-Vag]→[FT-STC-Vag設定ユーティリティ]をクリックしてください。



2 ユーティリティの画面が開きます。



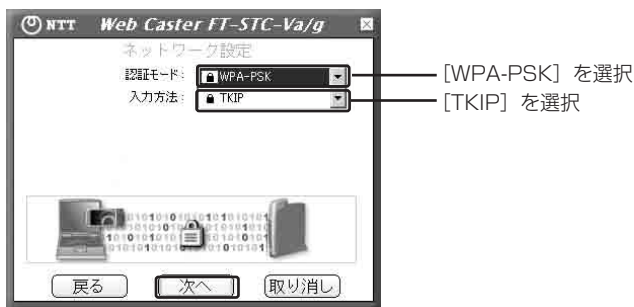
3 上部の[設定]タブをクリックします。利用するネットワーク設定を選択し、[変更]をクリックします。



- 4 [ネットワーク設定] の設定画面が表示されますので [次へ] をクリックして [認証モード] の設定画面まで進みます。

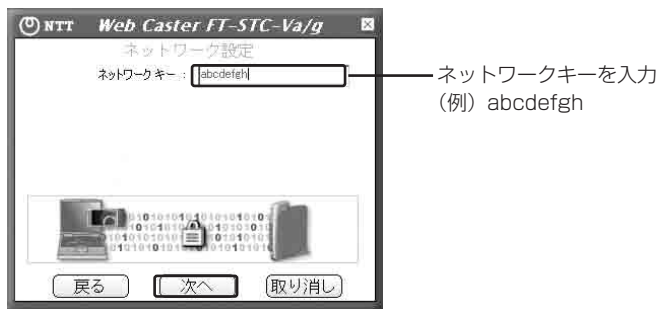


- 5 [認証モード] のメニューから [WPA-PSK] を選択し、[入力方法] メニューから [TKIP] を選択し、[次へ] をクリックします。



- 6 アクセスポイント（本商品）で設定したネットワークキー（事前共有キー）を入力してください。

入力が完了したら [次へ] をクリックしてください。



- 7 IPアドレス設定の画面が表示されますので [完了] をクリックしてください。
以上で、暗号化の設定は終了です。

⑨ ANY接続拒否に変更する

無線LANカードからのANY接続を一時的に許可していましたが（●P6-9）、ここで設定を拒否に戻します。

- 1 Webブラウザで本商品にログインし、画面左メニューから「無線LAN設定」を選択し、サブメニューの「基本設定」をクリックしてください。下記画面が表示されるので、ANY接続を「拒否」と設定します。

基本設定		ヘルプ?
無線LANモード	[11b/g]	
SSID	[11b-g-11b-g]	
ANY接続	[拒否]	
無線LAN設定	[11b/g]	
基本設定	[1] [設定]	
無線LAN設定	[1] [設定]	
送信	[送信]	
反映	[反映]	

- 2 「確認」をクリックします。
 - 3 「送信」をクリックします。
 - 4 「反映」をクリックします。
- 再起動終了後、設定した内容が有効になります。

⑩ 無線LAN接続を確認する

以上の手順を実施していただくと、本商品を無線LANのアクセスポイントとして使用することが可能になります。パソコンと本商品を接続していたLANケーブルを抜いて、本商品の設定画面にアクセスできるかお試しください。通信できない場合は手順にそって設定内容をご確認ください。

⑪必要に応じて本商品と無線LANカードの設定を変更する

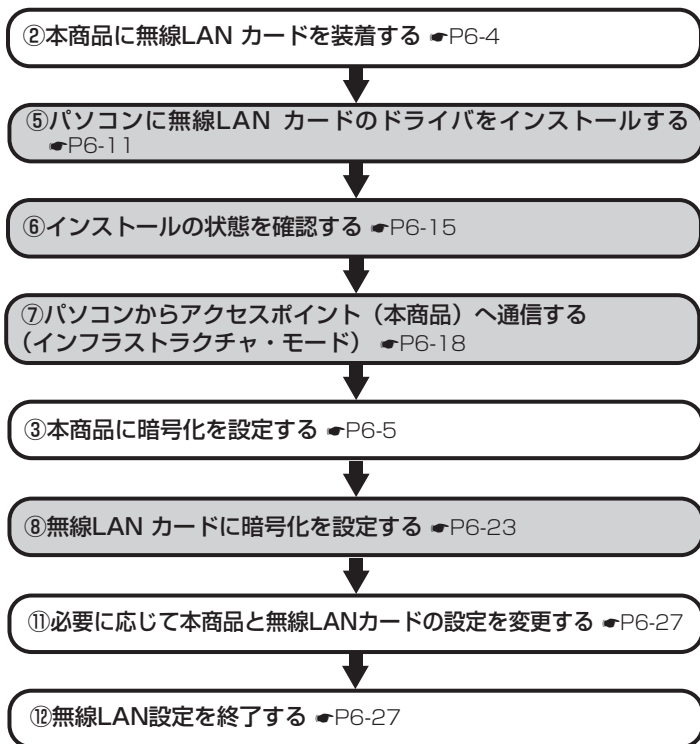
これまでの手順で無線LANに関する基本的な設定は完了しています。お客様のご使用方法に応じて設定の変更が必要な場合は、ここで変更を行ってください。（●詳細取扱説明書「無線LAN設定」、
「Web Caster FT-STC-Va/g 取扱説明書」、
「Web Caster FT-STC-Va/g 詳細取扱説明書」参照）

⑫無線LAN設定を終了する

以上の手順を実施していただくと、本商品を無線LANのアクセスポイントとして使用することが可能になります。

LANケーブルを使用しない設定

これまで、パソコンと本商品をLANケーブルで接続して本商品を簡易に設定するための方法を説明してきましたが、LANケーブルを使用しないで設定される方は以下の手順でも本商品の無線LAN設定を実施することができます。



お知らせ

- Web ブラウザで本商品にログインし、本商品の設定を変更してから再起動すると、その後すぐには無線LANカードを搭載したパソコンからWebブラウザで本商品にログインできず、「ページが表示できません」の画面になる場合があります。

7 お困りのときには

本商品がうまく動かない、操作しても違う結果になるなど、お困りのときには本章をお読みください。

トラブルや疑問点がある場合 ……………7-2

トラブルや疑問点がある場合

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、こちらをお読みください。
 該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化して、初めから設定し直してください。初期化を行うと本商品のすべての設定が消去されますのでご注意ください。初期化を行う場合は現在の設定内容を保存しておくことをお勧めします。初期化の方法については、「本商品の初期化について」(●P8-41)を参照してください。

設定に関するトラブル

症 状	原因と対策
PPPランプが消灯している (オフライン中)	①「PPPoE設定」画面の「接続先1～5」に設定した「接続ユーザ名」、「接続パスワード」が正しい内容であるか確認してください。(「かんたん設定」(●P3-12)、詳細取扱説明書「PPPoE設定」) ②本商品とADSLモデム等の接続構成および、本商品背面のWANポート等、ケーブルの種類や接続状態を再度ご確認ください。(「回線を接続する」(●P2-2)を参照してください。) ③「状態表示」画面で「PPPoE状態」を確認してください。「セッション1・2」が「未使用」になっている場合は、接続先が「切断」状態になっています。使用する「接続先」に対して「接続」を行ってください。(詳細取扱説明書「状態表示」) ④無通信監視タイマが有効に設定されている場合は、一定時間通信が無い場合にPPPoEが「切断」され、PPPランプが消灯します。通信を開始すると、自動的にPPPoEが接続し、PPPランプが点灯します。
VoIPランプが消灯している (IP電話回線利用不可)	「接続ユーザ名」、「接続パスワード」が指定された内容であるか確認してください。間違っている場合は再設定してください。(「かんたん設定」(●P3-12)、または「IP電話の設定」(●P3-16)を再度確認してください。)
無線LANカードのPOWER/LINKランプが消灯している (本商品)	本商品に無線LANカードが正しく取り付けられていない可能性があります。カードスロットの奥まで正しく無線LANカードが取り付けられているか確認してください。(「②本商品に無線LANカードを装着する」(●P6-4))
無線LANカードのPOWER/LINKランプが消灯している (パソコン)	パソコンに無線LANカードが正しく取り付けられていない可能性があります。 ①PCカードスロットの奥まで正しく無線LANカードが取り付けられているか確認してください。(「⑤パソコンに無線LANカードのドライバをインストールする」(●P6-11)) ②パソコンにPCカードスロットが複数ある場合には、他のPCカードスロットに差し替えてみてください。

通話／ダイヤルに関するトラブル

症 状	原因と対策
ハンドセット（受話器）を取りあげても発信音が聞こえない	本商品と電話機を接続している電話機コードを含め機器の接続構成を確認してください。（「回線を接続する」（➡P2-2））
電話機からダイヤルしても発信音が停止しない	① 電話機の設定が加入電話回線契約（DP（ダイヤルパルス指定）／PB（プッシュホン信号指定））と一致しているか確認してください。一致していないときは電話機の設定を変更してください。 ② Web保守画面の「状態表示」をクリックし、「加入電話回線種別」が加入電話回線の契約と一致しているか確認してください。一致していない場合はWeb保守画面の「電話設定」のメニュー「サービス設定」を選択し「加入電話回線種別」を変更してください。（詳細取扱説明書「サービス設定」および「状態表示」を参照してください。）
相手先が応答しない	① 相手先の電話番号を確認してください。 ② Web保守画面の「電話設定」メニュー「IP電話設定情報」をクリックし、「市外局番」が正しい番号が確認してください。間違っている場合はIP電話の設定をやり直してください。（詳細取扱説明書「IP電話設定情報」を参照してください。）
着信時にハンドセット（受話器）をあげると切れてしまう	本商品のナンバー・ディスプレイの設定が「あり」、電話機のナンバー・ディスプレイの設定が「なし」の状態に着信があると、はじめに短い呼出音が5～6回鳴り、このとき電話に出ると切れてしまいます。（「かんたん設定」（➡P3-12）を参照してください。）本商品と電話機の設定を確認してください。
IP電話回線が利用できない （「VoIP」ランプが点滅しない）	① 加入電話回線を選択する電話番号をダイヤルしている場合があります。（電話ランプが点滅します。）電話番号をご確認ください。（「加入電話回線を選択する電話番号」（➡P8-40）） ② 緊急通報（110/118/119）にダイヤルした場合は本商品側の電話機がハンドセット（受話器）を置いても通話は終了しません。（相手先が通話を終了するまで続きます。）緊急通報が終了するまでお待ちください。 ③ 本商品がIP電話サービスをご利用いただけない状態になっている可能性があります。本商品の電源を入れ直してください。
特定の相手先からの電話がかかってこない	● 相手先を着信拒否登録していないか確認してください。登録されている場合は解除を行ってください。（詳細取扱説明書「サービス設定」、「機能仕様」） ● 「非通知着信拒否」を利用していないか確認してください。ご利用の場合、非通知着信は受けられません。（詳細取扱説明書「サービス設定」、「機能仕様」）

トラブルや疑問点がある場合

パソコンに関するトラブル

症 状	原因と対策
パソコンからインターネットへアクセスできない	① 使用する接続先の「接続ユーザ名」、「接続パスワード」が正しい内容であるか確認してください。(詳細取扱説明書「PPPoE設定」) ② 「状態表示」画面で「PPPoE状態」を確認してください。「セッション1・2」が「未使用」になっている場合は、接続先が「切断」状態になっています。使用する「接続先」に対して「接続」を行ってください。(詳細取扱説明書「状態表示」) ③ パソコンにIPアドレスが設定されているか確認してください。(「パソコンを設定する」(●P2-13)) ④ 本商品からパソコン側にPingを送信し、通信の正常性を確認してください。(詳細取扱説明書「Ping送信」) ⑤ ブラウザのキャッシュクリアを行うためにパソコンの再起動を実施してください。
パソコンからインターネットへアクセスできない(WANランプが消灯している)	本商品とADSLモデム等との接続構成および、接続しているLANケーブルの種類を確認してください。(「回線を接続する」(●P2-2))
パソコンを接続したイーサネットポートのLINKランプが消灯している	① 「回線を接続する」(●P2-2)を参照して、LANの接続を確認し接続をやり直してください。 ② 接続に問題がなければ、LANカードが正しく動作しているか確認してください。なお、LANカードについてのトラブルは、パソコンあるいはLANカードのメーカーにご相談ください。
Webブラウザの設定画面へログインできない	● ログイン/パスワードが誤っていませんか？ ・ 正しいログイン名/パスワードを入力してください。 ・ ログイン名：admin ・ パスワードは忘れないようにメモして安全な場所に保管してください。 お忘れになった場合は、初期状態へ戻してください。(「本商品の初期化について」(●P8-41))
Webブラウザで変更した内容通り動作しない	● Webブラウザで内容を変更後、「反映」をクリックしましたか？ ・ 「反映」をクリックしてください。 ● ブラウザは適切なバージョンがパソコンにインストールされていますか？
ファームウェア更新や「反映」、「初期設定へ戻す」、「再起動」クリックなどにより、システム更新後または再起動後に「かんたん設定」画面が表示されない(「ページを表示できません」画面が表示される)	① アラームランプが消灯したあと、電話ランプ、WANランプが点灯することを確認してください。 ② [スタート]-[コントロールパネル]を選択してください。[ネットワークとインターネット接続]をクリックし、「ネットワーク接続」をクリックして開きます。 ③ 切断する接続を右クリックし、「無効にする」をクリックします。アクティブにする接続を右クリックして、「有効にする」をクリックしてください。

無線LANに関するトラブル

症 状	原因と対策
無線LANカードを装着したパソコンからインターネットに接続できない	無線LAN通信ができる 本商品のWAN側の設定に誤りがあるか、設定を行っていない可能性があります。 ●設定情報を確認してください。（「かんたん設定」（●P3-12）参照）
	無線LAN通信ができない 本商品およびパソコンに装着した無線LANカードに電源が供給されていない可能性があります。 ●PCカードスロットの奥まで正しく無線LANカードが挿入されていることを確認してください。 ●パソコンにPCカードスロットが複数ある場合には、他方に差し替えてみてください。カードスロットの動作が不安定な可能性があります。 パソコンへの無線LANカードの装着方法に関してはご使用のパソコンおよび無線LANカードの取扱説明書を参照してください。
	本商品および無線LANカードを装着しているパソコンの設置場所に問題がある可能性があります。 ●電波の届く範囲にパソコンが設置されていることを確認してください。（パソコンから信号強度、接続品質などを確認してください。） ●パソコンおよび本商品の設置場所を変えてみてください。 ・本商品とパソコンを壁から離してください。 ・パソコンを見通せる位置に本商品を設置してください。 ・本商品とパソコンをディスプレイ、他のパソコン筐体の直近には設置しないでください。
	アクセスポイント（本商品）の設定がパソコンに装着した無線LANカードに設定されていない可能性があります。 ●設定を確認してください。確認方法の詳細についてはご使用の無線LANカードの取扱説明書を参照してください。
	アクセスポイント（本商品）とパソコンに装着した無線LANカードの設定に不一致がある可能性があります。（暗号化、ESSIDなど） ●アクセスポイント（本商品）とパソコンに装着した無線LANカードの設定を確認してください。（「無線LANを利用する」（●P6-1）参照）
	他の通信機器と電波干渉が発生している可能性があります。 ●通信に使用しているチャンネルを変更してみてください。（詳細取扱説明書 無線LAN設定（基本設定）参照） パソコンに装着している無線LANカードについても同じチャンネルに設定を変更する必要があります。設定方法に関してはご使用の無線LANカードの取扱説明書を参照してください。 ●11bまたは11gを使用している場合は11aに変更してください。（「④ANY接続許可に変更する」（●P6-9）参照）

トラブルや疑問点がある場合

症 状	原因と対策
無線LANカードを装着したパソコンからインターネットに接続できない	本商品に装着されている無線LANカードが故障している可能性があります。 ●無線LANカードの取扱説明書を参照して無線LANカードが正常に動作していることを確認してください。 パソコンにIPアドレスが割り当てられていない可能性があります。 ●ipconfigコマンドなどでパソコンのIPアドレスを確認してください。 パソコンのIPアドレスの取得方法と本商品のDHCPサーバ機能に不一致がないか確認してください。 (詳細取扱説明書「DHCP設定」参照)
11gを使用しているのにスループットが低下した	11gと11bがネットワークで混在している可能性があります。 ●11gと11bを混在して使用しているネットワーク環境では、11b/gモードにしてください。 (「④ANY接続許可に変更する」(●P6-9)参照)

バージョンアップに関するトラブル

症 状	原因と対策
アップデートの状態が「更新の確認に失敗しました。」と表示される	● PPPランプが消灯していませんか。 →PPPoe接続が切断されています。接続後、「状態表示」画面の「更新確認」をクリックしてください。 ● 自動アップデート用のURLが間違っていないか。 →詳細取扱説明書「IP電話設定情報」の「アップデート確認URL」を確認してください。
ハンドセット（受話器）を上げると「ピーピーピー」と音がする	● 最新のファームウェアがあることを通知しています。ファームウェアの更新を行ってください。正常動作です。(「バージョンアップ」(●P5-1)参照) ● バージョンアップお知らせ機能により、通知音の送出する/しないが設定できます。「サービス設定」のバージョンアップお知らせ機能の設定を行ってください。(詳細取扱説明書「サービス設定」)
アップデートの状態が「ファームウェアのダウンロードに失敗しました。」と表示される	● PPPランプが消灯していませんか。 →PPPoe接続が切断されています。接続後、「状態表示」画面の「更新確認」をクリックし、更新された「アップデート状態」の表示内容に従って作業を行ってください。 (「バージョンアップ」(●P5-1)参照)
設定画面から「ダウンロード実行」をクリックしても、ダウンロードが始まらない	● 通話中ではありませんか。 →通話終了後に自動的にダウンロードが開始されます。 (「バージョンアップ」(●P5-1)参照)

症 状	原因と対策
アップデートの状態が「ファームウェアの更新に失敗しました。」と表示される	● PPPランプが消灯していませんか。 → PPPoE接続が切断されています。接続後、「状態表示」画面の「更新確認」をクリックし、更新された「アップデート状態」の表示内容に従って作業を行ってください。（「バージョンアップ」(●P5-1)）
Mac OSのパソコンからバージョンアップができない	ファームウェアをダウンロードする際に、拡張子をbinからfooなどの任意の値に変更してから保存してください。
自動バージョンアップができない	● 「自動アップデート」の「実行時刻」を確認してください。（「自動バージョンアップ機能を利用してバージョンアップする」(●P5-3)） ● 本商品の電源を落とさずにご利用ください。電源が切れるとファームウェアの更新ができない場合があります。（「自動バージョンアップ機能を利用してバージョンアップする」(●P5-3)）

その他のトラブル

症 状	原因と対策
電源アダプタのコンセントを差し込んだのに本商品の電源ランプが緑点灯しない	電源アダプタのケーブルが本商品に接続されているか確認してください。
アラームランプが点灯する	本商品で異常が発生しています。本商品の電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社、故障受付へお問い合わせください。
アラームランプが点滅する	本商品で異常が発生しています。初期化をして設定データを再度設定し直してください。復旧しない場合は当社、故障受付へお問い合わせください。（「本商品の初期化について」(●P8-41)）
● ログ表示の日時が1970年代になっている ● 「日時情報」の合わせ方がわからない	現在の日時が本商品に設定されていません。「NTPサーバIPアドレス」を指定してください。 「NTPサーバIPアドレス」についてはご加入のISP等で運用されているものをご利用ください。（詳細取扱説明書「ネットワーク設定」）
アラーム、PPP、VoIP、電話ランプが遅い点滅をしている	バージョンアップを実行中です。PPPランプが緑点灯（2セッション以上接続時は橙点灯）するまで電源を切らずにお待ちください。
アラーム、PPP、VoIP、電話ランプが速い点滅をしている	異常が発生しました。当社、故障受付へお問い合わせください。

(注) 上記対策を実施しても問題が解決しない場合、上記問題以外のトラブルが発生した場合は、当社、故障受付へお問い合わせください。

8 付録

パソコンのネットワーク設定	8-2
仕様	8-37
各種サービスについて	8-38
本商品の初期化について	8-41
ASCIIコード表	8-42
索引	8-43
お買い上げ商品の保証および 保守サービスのご案内	8-45

パソコンのネットワーク設定

Windows Vista®以外のパソコンのネットワーク設定について説明します。下記の手順に従って、パソコンを設定してください。設定の流れは次のとおりです。

- Windows® 98/Me/2000共通の設定 (●P8-4)
- Windows® 98/Meの場合 (●P8-4)
- Windows® 2000の場合 (●P8-10)
- Windows® XPの場合 (●P8-16)
- Mac OS 9.04以降の場合 (●P8-24)
- Mac OS Xの場合 (●P8-30)

設定後は3章の「かんたん設定」に進んでください。(●P3-2)

インターネットプロパティの設定 (Windows® 98/Me/2000共通の設定)

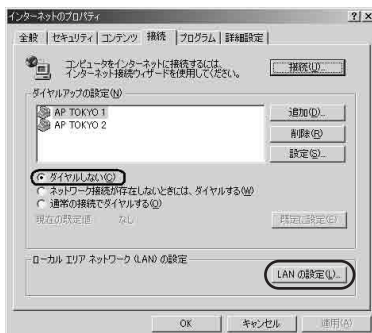
これまで通常モデムと加入電話回線を使ってインターネットに接続していたパソコンをADSL接続に変更した場合は、インターネットの接続方法を確認してください。以下の画面例はInternet Explorer 6.0です。その他のブラウザをご利用の場合は、各ブラウザの説明書を参照してください。

1 インターネットのプロパティを表示する

「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」を選択してコントロールパネルを開き、「インターネット オプション」をダブルクリックします。

2 「接続」で「ダイヤルしない」を選択する

「インターネットのプロパティ」の「接続」タブをクリックして画面を切り替えます。「ダイヤルアップの設定」で、「ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする」や「通常の接続でダイヤルする」が選択されている場合は、「ダイヤルしない」を選択してください。



お知らせ

- ダイヤルアップを実施していない場合はチェックできないようになっています。「ダイヤルしない」にチェックがついていることを確認してください。

「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」の「LANの設定」をクリックして「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」を表示する

①「自動設定」のチェックを外す

「設定を自動的に検出する」、「自動設定のスクリプトを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、すべてのチェックを外して「OK」をクリックしてください。

②「プロキシサーバー」のチェックを外す

「プロキシサーバーを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、チェックを外して「OK」をクリックしてください。



お知らせ

- いずれにもチェックがついていないことを確認してください。

最後に「OK」をクリックし、「インターネットのプロパティ」を終了してください。



お知らせ

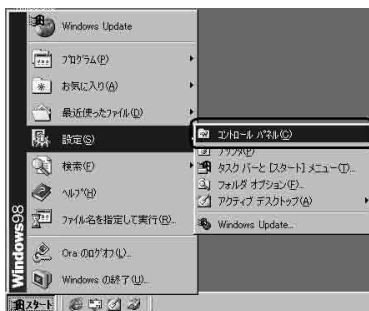
- Internet Explorer 5.5（サービスパック2）以上がインストールされていることをご確認ください。
- 「フレッツ接続ツール」を使用する必要はありません。
- Internet Explorerを初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」というダイアログが起動することがあります。この場合「キャンセル」をクリックしてウィザードを一旦終了してください。（「インターネット接続ウィザード」の詳しい設定手順は、Internet Explorerの説明書などを参照してください。）

ネットワークの設定 (Windows® 98/Meの場合)

LANカードの取り付けとドライバのインストールは、ご利用機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

1 コントロールパネルを表示する

Windows® 98/Me を起動して「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」を選択します。



2 ネットワークのプロパティを表示する

コントロールパネルから「ネットワーク」のアイコンをダブルクリックします。

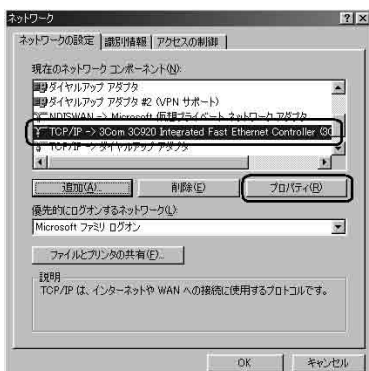


ワンポイント

- Windows® Meにおいて、コントロールパネルに「ネットワーク」のアイコンが表示されていない場合は、画面に表示されている「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックしてください。

TCP/IPのプロパティを表示する

「現在のネットワークコンポーネント」一覧から「TCP/IP」または「TCP/IP -> <LANカードの名前>」という項目を選択し、「プロパティ」をクリックします。

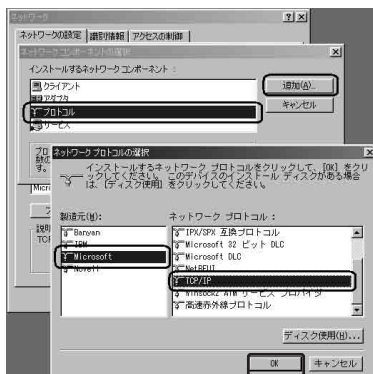


ワンポイント

- 一覧に「TCP/IP -> ダイアルアップ アダプタ」という項目が表示されている場合がありますが、これはADSLモデムのLANカードの設定とは無関係ですので利用しません。
- 一覧に「TCP/IP」あるいは「TCP/IP -> <LANカードの名前>」という該当の項目がない場合は、「追加」をクリックしてください。

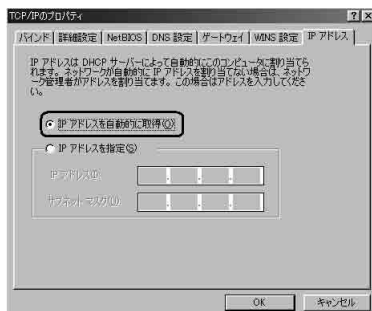
「インストールするネットワークコンポーネント」の「プロトコル」を選択し、「追加」をクリックします。「製造元」は「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」は「TCP/IP」を選択して「OK」をクリックしてください。

これで「現在のネットワークコンポーネント」一覧にTCP/IPが追加されます。



4 IPアドレスを設定する

「TCP/IPのプロパティ」の「IPアドレス」タブをクリックして、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択します。



5 DNSを設定する

「DNS設定」タブをクリックして、「DNSを使わない」を選択します。



6

ゲートウェイを設定する

「ゲートウェイ」タブをクリックして、「インストールされているゲートウェイ」になにも設定されていないことを確認します。

この欄になにか設定されている場合は、そのアドレスをクリックして選択してから「削除」をクリックして削除してください。



7

「TCP/IPのプロパティ」を終了する

IPアドレス、DNS設定、ゲートウェイを設定後、確認したら「OK」をクリックします。

8

「ネットワークのプロパティ」を終了する

「ネットワークのプロパティ」に戻り、「OK」をクリックします。



ワンポイント

- ご利用中のパソコンによってはWindows® のCD-ROMをセットするようにメッセージが表示されることがあります。その場合は、画面の指示に従って操作してください。

9

パソコンを再起動する

最後に「今すぐパソコンを再起動しますか？」というメッセージが表示されます。「はい」をクリックしてパソコンを再起動してください。

ネットワークの設定変更が必要なかった場合は、再起動を促すメッセージは表示されません。

パソコンのネットワーク設定

ネットワークの設定を確認する (Windows® 98/Meの場合)

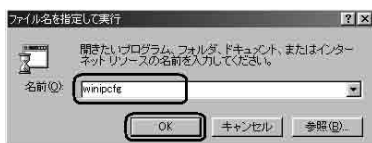
パソコン(LANカード)と本商品が正しく接続・設定されているか確認したい場合、Windows® 98/Meでは「winipcfg」から確認することができます。

1 「winipcfg」を起動する

「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択しクリックします。

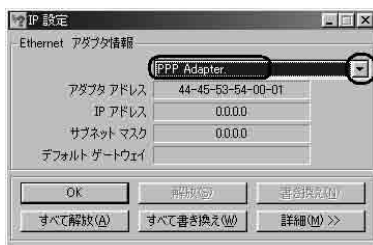


「名前」の入力欄に「winipcfg」と入力し「OK」をクリックします。



2 IPアドレスを確認する

「winipcfg」が起動したら、IPアドレスが取得できているかどうか確認します。「Ethernetアダプタ情報」が「PPP Adapter.」と表示されている場合は右端のプルダウンメニュー▼をクリックして現在ご利用しているLANカード名を選択し変更してください。



3

「winipcfg」を終了する

IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの欄に画面と同様の値が表示されていることを確認します。IPアドレスは192.168.1.2～192.168.1.11の範囲のいずれかが設定されます。(工場出荷状態の場合)
「OK」をクリックします。



ワンポイント

- IPアドレスが「0.0.0.0」となっていたり「デフォルトゲートウェイ」が空白になっていたりする場合は、まず「解放」をクリックして、次に「すべて書き換え」をクリックしてください。この操作でIPアドレスとゲートウェイの欄に各情報が表示されれば設定の確認は完了です。



お知らせ

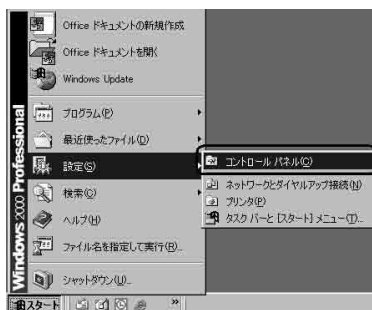
- IPアドレスやデフォルトゲートウェイが正常に設定されていない場合は、パソコンの電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、再起動してください。

ネットワークの設定 (Windows® 2000 の場合)

LANカードの取り付けとドライバのインストールは、ご利用機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

1 コントロールパネルを表示する

Windows® 2000を起動して「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」を選択します。



2 「ネットワークとダイヤルアップ接続」を表示する

コントロールパネルの「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックします。



3

「ローカルエリア接続」を表示する

「ネットワークとダイヤルアップ接続」から「ローカルエリア接続」のアイコンをダブルクリックします。



4

「ローカルエリア接続のプロパティ」を表示する

「ローカルエリア接続状態」の「プロパティ」をクリックします。



パソコンのネットワーク設定

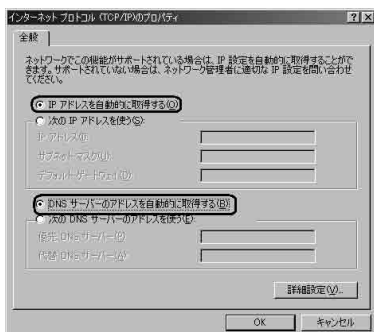
5 インターネットプロトコル(TCP/IP)の項目を選択し、プロパティを表示する

「ローカルエリア接続のプロパティ」の一覧から「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し「プロパティ」をクリックしてください。



6 IPアドレスとDNSを設定する

「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」の「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。



7 「OK」をクリックして「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」を終了する

8 「ローカルエリア接続のプロパティ」に戻ったら「OK」をクリックする

ネットワークの設定を確認する（Windows® 2000の場合）

パソコン(LANカード)と本商品が正しく接続・設定されているか確認したい場合、Windows® 2000ではコマンドプロンプトを起動して操作します。

1 コマンドプロンプトを起動する

「スタート」メニューから「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を順次選択して、「コマンドプロンプト」をクリックしてください。



2

ipconfigコマンドを実行する

コマンドプロンプトが開いたら、キーボードから半角英数字で「ipconfig」と入力し、Enterキーを押します。ipconfigコマンドを実行すると、

- ・ IP Address
- ・ Subnet Mask
- ・ Default Gateway

などの情報が表示されます。パソコンに各種情報が正しく設定されていることを確認してください。

IPアドレスは192.168.1.2～192.168.1.11の範囲のいずれかが設定されます。(工場出荷状態の場合)

```
Microsoft Windows [Version 5.00.2195]
(C) Copyright 1985-2000 Microsoft Corp.

C:\>ipconfig

Windows 2000 IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

    Connection-specific DNS Suffix . : 
    IP Address . . . . . : 192.168.1.2
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
    Default Gateway . . . . . : 192.168.1.1

C:\>
```



ワンポイント

- IP AddressとDefault Gatewayが正しく設定されていない場合は、半角英数字で「ipconfig /renew」と入力してください。
IP Address, Subnet Mask, Default Gatewayの各情報が再度表示されます。
- 各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンの電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、再起動してください。

```
Microsoft Windows [Version 5.00.2195]
(C) Copyright 1985-2000 Microsoft Corp.

C:\>ipconfig

Windows 2000 IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続 2:

    Connection-specific DNS Suffix . : 
    IP Address . . . . . : 192.168.1.2
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
    Default Gateway . . . . . : 192.168.1.1

C:\>ipconfig /renew

Windows 2000 IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続 2:

    Connection-specific DNS Suffix . : 
    IP Address . . . . . : 192.168.1.2
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
    Default Gateway . . . . . : 192.168.1.1

C:\>
```

パソコンのネットワーク設定

インターネットプロパティの設定 (Windows® XPの場合)

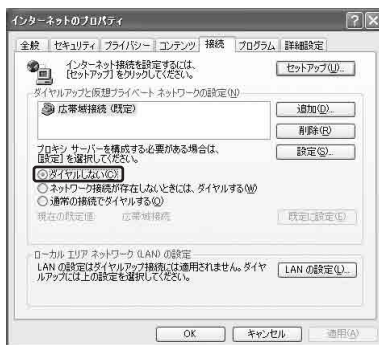
これまで通常モデムと加入電話回線を使ってインターネットに接続していたパソコンをADSL接続に変更した場合は、インターネットの接続方法を確認してください。以下の画面例はInternet Explorer 6.0です。その他のブラウザをご利用の場合は、各ブラウザの説明書を参照してください。

1 インターネットのプロパティを表示する

「スタート」メニューから「コントロールパネル」を選択してコントロールパネルをクリックし、「ネットワークとインターネット接続」をクリックし、「インターネット オプション」をダブルクリックします。

2 「接続」で「ダイヤルしない」を選択する

「インターネットのプロパティ」の「接続」タブをクリックして画面を切り替えます。「ダイヤルアップの設定」で、「ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする」や「通常の接続でダイヤルする」が選択されている場合は、「ダイヤルしない」をクリックしてください。



お知らせ

- ダイヤルアップを実施していない場合はチェックできないようになっています。「ダイヤルしない」にチェックがついていることを確認してください。

3

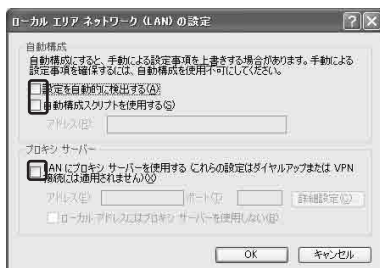
「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」の「LANの設定」をクリックして「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」を表示する

①「自動構成」のチェックを外す

「設定を自動的に検出する」、「自動構成スクリプトを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、すべてのチェックを外してください。

②「プロキシサーバー」のチェックを外す

「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、チェックを外して「OK」をクリックしてください。



お知らせ

- いずれにもチェックがついていないことを確認してください。

③最後に「OK」をクリックし、「インターネットのプロパティ」を終了してください。



お知らせ

- Internet Explorer 5.5 (サービスパック2)、Internet Explorer 6またはInternet Explorer 7がインストールされていることを確認してください。
- 「フレッツ接続ツール」を使用する必要はありません。
- Internet Explorerを初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」というダイアログが起動することがあります。この場合「キャンセル」をクリックしてウィザードを一旦終了してください。('インターネット接続ウィザード'の詳しい設定手順は、Internet Explorerの説明書などを参照してください。)

パソコンのネットワーク設定

ネットワークの設定 (Windows® XPの場合)

LANカードの取り付けとドライバのインストールは、ご利用機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

1 コントロールパネルを表示する

Windows® XPを起動し、「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックします。



2 「ネットワークとインターネット接続」を表示する

コントロールパネルの「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。



3

「ネットワーク接続」を表示する

「ネットワークとインターネット接続」の「ネットワーク接続」をクリックします。



4

「ローカルエリア接続」を表示する

「LANまたは高速インターネット」内の「ローカルエリア接続」をダブルクリックします。



パソコンのネットワーク設定



ワンポイント

- 「ネットワーク接続」の「広帯域」の欄に、PPPoE設定がされている場合には、PPPoEのアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューの「既定の接続を解除」を選択し、クリックしてください。（例では、「マイISP」となっています。）本商品を使い、ADSLなどに接続するときは利用しません。



5

「ローカルエリア接続のプロパティ」を表示する

「ローカルエリア接続の状態」の「プロパティ」をクリックします。



6

インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティを表示する

「ローカルエリア接続のプロパティ」の一覧から「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。

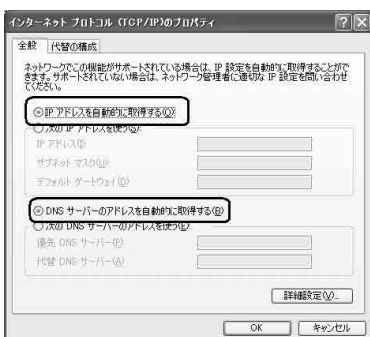


※一覧に表示されているチェックは外さないでください。

7

IPアドレスとDNSを設定する

「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」の「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。



8

「OK」をクリックして「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」を終了する

9

「ローカルエリア接続のプロパティ」に戻ったら「OK」をクリックする

ネットワークの設定を確認する (Windows® XPの場合)

パソコン(LANカード)と本商品が正しく接続・設定されているか確認したい場合、Windows® XPではコマンドプロンプトを起動して操作します。

1 コマンドプロンプトを起動する

「スタート」メニューから「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を順次選択して、「コマンドプロンプト」をクリックしてください。

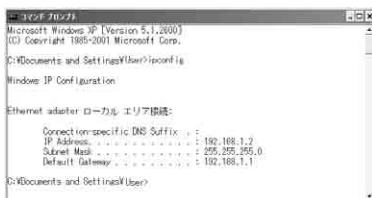


2 ipconfigコマンドを実行する

コマンドプロンプトが開いたら、キーボードから半角英数字で「ipconfig」と入力し、Enterキーを押します。ipconfigコマンドを実行すると、

- ・ IP Address
- ・ Subnet Mask
- ・ Default Gateway

などの情報が表示されます。パソコンに各情報が正常に設定されていることを確認してください。IPアドレスは192.168.1.2～192.168.1.11の範囲のいずれかが設定されます。(工場出荷状態の場合)





ワンポイント

- IP AddressとDefault Gatewayが正しく設定されていない場合は、半角英数字で「ipconfig /renew」と入力してください。
IP Address, Subnet Mask, Default Gatewayの各情報が再度表示されます。
- 各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンの電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、再起動してください。

パソコンのネットワーク設定

ネットワークの設定 (Mac OS 9.04以降の場合)

ドライバのインストールは、ご利用中の機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

1 機能拡張フォルダをクリックする

本商品を利用するには、「Open Transport」のバージョンが2.6以上である必要があります。ここでは、インストールされている「Open Transport」のバージョンの確認を行います。Mac OS 9.04以降を起動して、ハードディスクアイコンをダブルクリックします。「システムフォルダ」をダブルクリックし、「機能拡張」フォルダをダブルクリックします。



2 Open Transportの情報を確認する

「機能拡張」フォルダの中から「Open Transport」という書類をクリックし、メニューバーから「ファイル」→「情報を見る」→「一般情報」を選択します。



3

Open Transportのバージョンを確認する

Open Transportのバージョンが2.6以上であることを確認します。確認が終わったらウィンドウを閉じます。

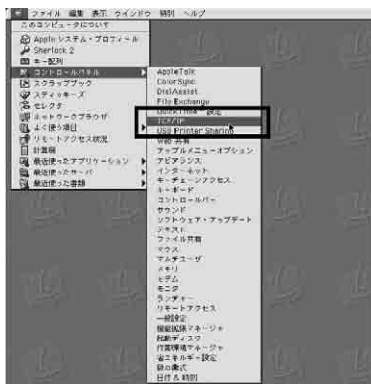


※ Open Transportのバージョンが2.6以上でなかった場合は、アップルコンピュータのホームページでアップデータをダウンロードしてご利用ください。

4

TCP/IP設定ウィンドウを表示する

「アップル」メニューから「コントロールパネル」→「TCP/IP」を選択して、「TCP/IP」設定ウィンドウを表示します。





ワンポイント

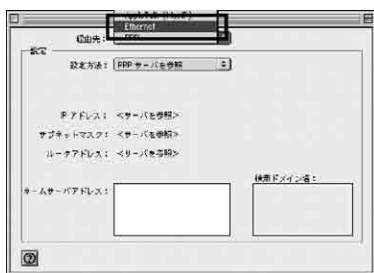
- 「アップルメニューオプション」で「サブメニュー」の機能をオフにしている場合は、アップルメニューから「コントロールパネル」を選択し、コントロールパネルのウィンドウが表示されてから「TCP/IP」をダブルクリックします。



5

経路先を選択する

「TCP/IP」設定ウィンドウの「経路先」リストで、「Ethernet」を選択します。



6

設定方法を選択する

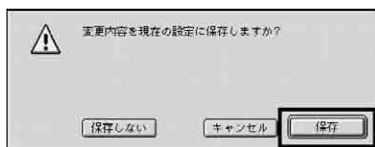
「TCP/IP」設定ウィンドウの「設定方法」リストより、「DHCPサーバを参照」を選択します。



7

「TCP/IP」設定ウィンドウを閉じる

ネットワークの設定が終了したら、「TCP/IP」設定ウィンドウを閉じます。このとき、「変更内容を現在の設定に保存しますか？」というメッセージが表示された場合、「保存」をクリックします。



お知らせ

- Internet Explorer 5.1.6以上がインストールされていることをご確認ください
- 「フレッツ接続ツール」を使用する必要はありません。

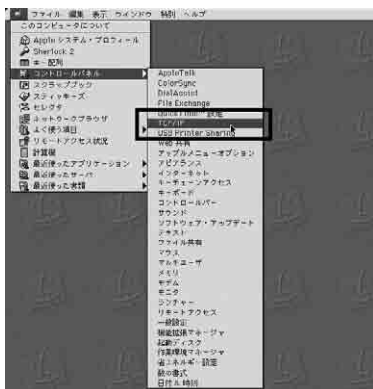
パソコンのネットワーク設定

ネットワークの設定を確認する (Mac OS 9.04以降の場合)

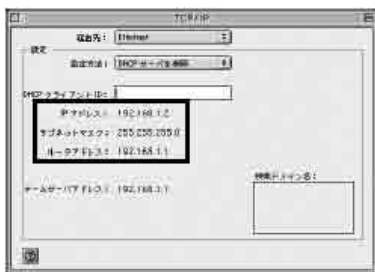
Mac OS 9.04以降でパソコンと本商品が正しく接続されているかどうか確認したい場合には以下のようにしてください。

1 TCP/IP設定ウィンドウを表示する

「アップル」メニューから「コントロールパネル」→「TCP/IP」を選択して、「TCP/IP」設定ウィンドウを表示します。



2 ネットワークの設定を確認する



ネットワークの設定が設定前と変更されていることを確認します。確認する箇所は以下のとおりです。

- ・IPアドレス
- ・サブネットマスク
- ・ルータアドレス

これらのアドレスはすべて自動で設定されます。

3

「TCP/IP」設定ウィンドウを閉じる

ネットワークの設定が終了したら、「TCP/IP」設定ウィンドウを閉じます。このとき、「変更内容を現在の設定に保存しますか？」というメッセージが表示された場合は、「保存しない」をクリックします。

ネットワークの設定 (Mac OS Xの場合)

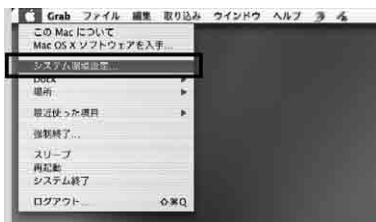
ドライバのインストールは、ご利用中の機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行ってください。

1 システム環境設定を表示する

Dock上の「System Preferences」アイコンをクリックして、「システム環境設定」を表示します。



※ Mac OS Xの標準状態では、Dockに「システム環境設定」のアイコンが登録されています。Dockから削除してしまった場合は、「アップル」メニューから「システム環境設定」を選択します。



2 ネットワークの設定項目をクリックする

「システム環境設定」のウィンドウから「ネットワーク」をクリックします。



3

ネットワークの種類を選択する

「ネットワーク」ウィンドウのタブの上部にある「設定」リストより、「内蔵Ethernet」を選択します。



4

「TCP/IP」を設定する

「TCP/IP」タブをクリックし、TCP/IPの設定画面を表示します。設定内容が以下のようになっていることを確認します。

- ・「設定」：「DHCPサーバを参照」
- ・「DHCPクライアントID」：空白
- ・「ドメインネームサーバ」：空白
- ・「検索ドメイン」：空白



5 「PPPoE」のチェックを外す

「PPPoE」タブをクリックし、PPPoEの設定画面を表示します。チェックがついている場合は外します。本商品を使いフレッツADSL／Bフレッツなどに接続するときは利用しません。



6 「AppleTalk」のチェックを外す

「AppleTalk」タブをクリックし、AppleTalkの設定画面を表示します。「AppleTalk使用」にチェックがついている場合は外します。



7

プロキシを設定する

「プロキシ」タブをクリックし、プロキシの設定画面を表示します。ここでチェックがついている場合は、すべて外します。



8

ネットワーク設定を保存する

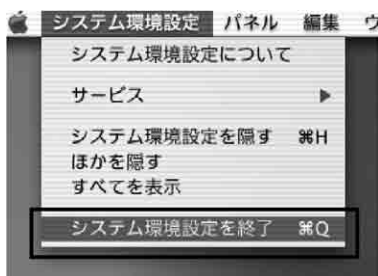
ネットワークの設定が終了し、変更した部分があった場合は、右下の「保存」をクリックします。また、「保存」を押さないでほかの設定を行う場合、「設定の変更点を保存しますか？」というメッセージが表示されるので、「保存する」をクリックします。



9

「システム環境設定」を終了する

メニューバーの「システム環境設定」→「システム環境設定を終了」を選択して終了します。



お知らせ

- Internet Explorer5.2.2以上がインストールされていることをご確認ください。
- 「フレッツ接続ツール」を使用する必要はありません。

ネットワークの設定を確認する (Mac OS Xの場合)

Mac OS Xでパソコンと本商品が正しく接続されているかどうか確認したい場合には以下のよう
にしてください。

1 システム環境設定を表示する

Dock上の「System Preferences」アイコンをクリックして、「システム環境設定」を開きま
す。「システム環境設定」ウィンドウから「ネットワーク」をクリックします。



2 ネットワークの種類を選択する

「ネットワーク」ウィンドウのタブの上部にある「設定」リストより、「内蔵Ethernet」を選択
します。



(次ページに続く)

パソコンのネットワーク設定

3 「TCP/IP」を確認する

「TCP/IP」タブをクリックしてTCP/IPの設定画面を表示し、IPアドレスが割り当てられていることを確認します。



4 システム環境設定を終了する

メニューバーの「システム環境設定」→「システム環境設定を終了」を選択して終了します。

■ 仕様一覧

項 目	仕 様	記 事
WANインタフェース	10BASE-T/100BASE-TX (IEEE802.3/802.3u) X1ポート (RJ45)	
LANインタフェース	10BASE-T/100BASE-TX (IEEE802.3/802.3u) X4ポート (RJ45)	
電話機インタフェース	収容回線数：1回線 (RJ11)	
加入電話インタフェース	収容回線数：1回線 (RJ11) 技術基準適合 (アナログ電話回線)	
無線拡張インタフェース	PC Card Standard (Card Busインタフェース)・ TYPE II	Web Caster FT-STC-Va/g 専用
使用電源	AC100 V $\pm$ 10 % 50/60 Hz	
消費電力	最大12 W	
外形寸法 (mm)	約70 (W) $\times$ 207 (D) $\times$ 216 (H)	突起部を除く
質量	約550 g	商品本体のみ
動作環境	温度：0～40 $^{\circ}$ C 湿度：5～85 %	結露しないこと
EMI	VCCI クラスB	
情報処理装置等電波障害自主 規制協議会 (VCCI)	クラスB情報技術装置	

各種サービスについて

NTTネットワークサービスへの対応について

下記の「加入電話付加サービス等対応状況表」をご確認ください。「加入電話付加サービス等対応状況表」は、本商品に接続された加入電話回線から当該付加サービスを利用できるかどうかについて記載しています。

ただし、IP電話としての通話は、加入電話付加サービスの対象外となります。また、IP電話利用中（発着/通話中）は、加入電話付加サービスが動作しない場合もありますのでご注意ください。なお、IP電話サービスとしての対応状況については、ご契約のプロバイダにご確認ください。

■ 加入電話付加サービス等対応状況表

サービス名	対応可否	【凡例】
		○：従来どおりご利用いただけます。 ●：加入電話通話時は従来どおりですが、IP電話通話時は留意が必要です。 △：一部制約事項があります。 ×：利用できません。
■着信者として下記サービスをご利用になる場合		
ナンバー・ディスプレイ キャッチホン・ディスプレイ ネーム・ディスプレイ	△	IP電話利用中（発着/通話中）の加入電話着信の場合は、発信者番号情報が通知されません。
ナンバー・リクエスト 二重番号サービス でんわばん	●	IP電話への着信時は動作しません。
ナンバー・アナウンス ナンバーお知らせ136	●	IP電話への着信履歴はお知らせされません。
迷惑電話おことわりサービス	●	IP電話への着信は拒否できません。
なりわけサービス	△	IP電話サービスをご利用の場合と同じ着信音が鳴る場合があります。
キャッチホン	●	加入電話通話中の加入電話着信時のみ動作します。
キャッチホンII マジックボックス（キャッチホン機能）	△	加入電話通話中の加入電話着信時のみ動作します。IP電話利用中の加入電話着信はメッセージセンタに転送されません。またセンタでメッセージが残っている場合、ハンドセット（受話器）を取り上げるたびに「プー」の前に送出される「ブッ、ブッ、」という音は鳴りません。
ボイスワープ ボイスワープセレクト マジックボックス（転送機能）	△	加入電話への着信時のみ動作します。 解除忘れ警告音が鳴らない等の誤作動をする可能性があります。 また、登録した呼出回数より着信音の鳴動回数が少なくなる場合があります。 応答後転送を利用する場合、通話中にフッキングしても転送できないことがあります。 話中時転送は、加入電話通話中の加入電話着信時のみ動作します。
転送でんわ	△	加入電話への着信時のみ動作します。 解除忘れ警告音が鳴らない等の誤作動をする可能性があります。
モデムダイヤルイン	×	モデム信号を識別することができないため、モデムダイヤルイン対応電話機をご利用の場合であっても鳴り分けができません。
PBダイヤルイン	×	着信できません。

■発信者として下記サービスをご利用になる場合		
トリオホン	×	フッキング信号を加入電話回線に送出できず通話が切断されるため、第2発信できません。
空いたらお知らせ159	●	相手先がIP電話通話中だった場合はご利用できません。
ボイスボックス でんわ会議 短縮ダイヤル	○	センタへ発信するときは「0000」（ゼロ4回）を付与してダイヤルしてください。
#ダイヤル	○	加入電話回線を自動的に選択し発信します。
フリーアクセス ナビアクセス APナビ ダイヤルQ2	○	ご契約のIP電話サービスが左記のサービスを対象外としている場合は、加入電話発信に自動切替されます。
オフトーク通信サービス ノーリング通信サービス	○	宅内装置をIP電話対応機器と単体電話機の間に接続した場合は動作しませんが、スプリッタとIP電話対応機器の間に接続した場合は動作します。
Lモード	△	センタでメッセージが残っている場合、ハンドセット（受話器）を取り上げるたびに「ブー」の前に送出される「プブッ、プブッ、」という音は鳴りません。また、ご利用の電話機によってはダイヤル種別「DP」設定時にLモードを利用すると、接続まで時間がかかり、つながらない可能性があります。

（2007年12月現在の情報です。）

各種サービスについて

加入電話回線を選択する電話番号

加入電話回線を利用する電話番号は以下のとおりです。

分 類	番 号	項 目
緊急	110	警察
	119	消防
	118	海上
サービス	100	100番通話
	106	コレクトコール（コミュニケータ扱い）
	108	自動コレクトコール
	107	新幹線列車通話
	117	時報
	177	天気予報
	171	災害用伝言ダイヤル
	122	固定優先接続機能解除 ※1
受付	104	番号案内
	115	電報申込
	113	故障受付
	114	お話中調べ
	116	注文受付
	14X	ボイスワープ設定用番号など
	136	ナンバー・アナウンス／ナンバーお知らせ136
	159	空いたらお知らせ159
	121	クレジット通話 ※1

※ 1：番号入力後、続けて番号入力のあるもの

（2007年12月現在の情報です。）

本商品の初期化について

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことをいいます。本商品がうまく動作しない場合、今までとは違う回線に接続し直す場合、または設定を間違えた場合は、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

いったん初期化すると、それまでに設定した値は全て消去され、お買い求め時の状態に戻りますのでご注意ください。（IP電話に関する設定もすべて消去されてしまいますので、設定をやり直してください。また、ログ情報も消去されます。）本商品の初期化には、2種類の方法があります。

Webブラウザによる初期化

Webブラウザを利用して本商品を初期化します。詳しくは、詳細取扱説明書「再起動」を参照してください。



RESETスイッチによる初期化

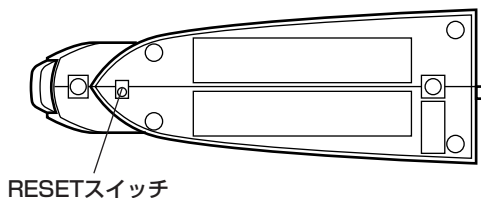
1 本商品の電源アダプタをいったん抜きます。

2 本商品の底面にあるRESETスイッチを押しながら電源を入れ、INITランプが赤点灯になるまで押し続けてください。

INITランプが赤点灯になれば、初期化は完了です。

※初期化が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。

〈本商品 底面図〉



お知らせ

- 本商品に設定する接続ユーザー名や接続パスワードは重要な個人情報です。情報を盗まれると悪用される可能性がありますので、情報の管理には十分お気をつけください。本商品を当社に返却したり廃棄したりする場合等、本商品の利用をやめる際は、必ず初期化を行い、設定された情報を消去してください。

ASCIIコード表

ASCII (American Standard Code for Information Interchange 情報交換用アメリカ標準コード) とは、1963年にANSI (American National Standards Institute アメリカ規格協会) によって定められた情報交換用の文字コードです。16進数2桁 (7ビット) で34文字の制御コードと94文字の文字コードを構成し、英数字 (a~z、A~Z、0~9) と基本的な記号 (!、#、\$、&など) を表現します。

上位3 ビット 下位4 ビット	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAC	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
A	LF/NL	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	\	l	
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

※本書および詳細取扱説明書でASCIIコードと記載している場合は上記表の網掛け部分 (制御コードおよび記号「」、「:」) を除いた文字・記号を示します。

アルファベット

10/100BASE-Tランプ 1-4
 10BASE-T 1-2, 8-37
 100BASE-TX 8-37
 ANY接続 6-2, 6-9, 6-26
 APランプ 1-3
 ASCII 8-42
 Bフレッツ (マンションタイプVDSL方式)
 に接続する 2-4
 Bフレッツ (マンションタイプVDSL方式以外)
 に接続する 2-6
 CD-ROM 9, 14, 15
 DNS 2-12, 8-6, 8-12
 ESSID 6-9, 6-10, 6-18
 INITランプ 1-3
 ipconfigコマンド 2-13, 8-15
 IPアドレス 2-13, 8-6, 8-8, 8-12, 8-21
 IP電話回線 2-8
 LANカード 1-2
 LAN側接続ポート 1-4
 LANケーブル 2-2, 2-4, 2-6
 LEDランプの確認 2-8
 LINEポート 1-4
 LINKランプ 1-4
 Ping 7-4
 PPPoE 8-20, 8-32
 PPPランプ 1-3, 2-8
 PSK (事前共有キー) 6-7
 TCP/IP 2-12, 8-5, 8-12, 8-31, 8-36
 TELポート 1-4
 TKIP+PSK 6-6
 VoIPランプ 1-3, 2-8
 WAN側接続ポート 1-4
 WANランプ 1-3, 2-8
 WEP 6-5, 6-6, 6-7
 WEPキー 6-6, 6-7
 winipcfg 8-8
 WPA 6-5
 WPA+PSK 6-7

五十音

【ア行】

アースケーブル 1-4
 アース端子 1-4
 アラームランプ 1-3, 2-8
 暗号化 6-5
 インターネットサービスプロバイダ設定 3-12
 インターネット接続 3-15
 インターネットプロバイダ 2-10
 インフラストラクチャ・モード 6-18

【カ行】

回線を接続する 2-2, 2-4, 2-6
 加入電話回線 4-4
 キーインデックス 6-7
 キー更新間隔 6-7
 キャッチホン 4-5
 緊急通報 4-4
 ゲートウェイ 8-7

【サ行】

サブネットマスク 8-28
 仕様 8-37
 初期化 8-41
 スプリッタ 2-2
 接続パスワード 3-12
 接続ユーザ名 3-12
 セットアップする 1-5

【タ行】

デフォルトゲートウェイ 8-9
 電源アダプタ 1-2, 2-3, 2-5, 2-7, 2-8
 電源アダプタコード端子 1-4
 電源ランプ 1-3, 2-8
 点灯しない場合 2-8

電話

 相手がお話し中のとき 4-2
 電話を受ける 4-3
 電話をかける 4-2
 電話機コード 1-2, 2-2, 2-4, 2-6
 電話番号による回線選択 4-4
 電話ランプ 1-3, 2-8
 トラブルや疑問点がある場合 7-2

【ナ行】

ナンバー・ディスプレイ 4-8

ネットワークの設定

- Mac OS 9.04 以降の場合 8-24
- Mac OS X の場合 8-30
- Windows® 2000 の場合 8-10
- Windows® 98/Me の場合 8-4
- Windows Vista® の場合 2-10
- Windows® XP の場合 8-18

ネットワークの設定を確認する

- Mac OS 9.04 以降の場合 8-28
- Mac OS X の場合 8-35
- Windows® 2000 の場合 8-14
- Windows® 98/Me の場合 8-8
- Windows Vista® の場合 2-13
- Windows® XP の場合 8-22

【ハ行】

- バージョンアップ 5-1
- パソコンと接続する 2-3, 2-5, 2-7
- ファームウェア 5-6, 5-15
- フッキング 4-6
- フレッツ・ADSLに接続する 2-2

【マ行】

- 無線LANカード 6-11

【ラ行】

- ランプ表示 1-3, 1-4
- 利用中電話サービス 3-12

お買い上げ商品の保証および 保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。

（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要になります。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：【NTT東日本】<http://web116.jp/ced/>
：【NTT西日本】<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方でご不明の点がございましたら、下記へお気軽にご相談ください。

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

 **0120-710444** (9:00~21:00)

携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合（通話料金がかかります）
03-5667-7200

年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

●パソコンの接続・設定等に関するお問い合わせ

 **0120-275466** (24時間 年中無休)

携帯電話からご利用の場合（24時間 年中無休）（通話料金がかかります）
0570-005202

※PHS・050IP電話・ひかり電話からはご利用いただけません。

●故障に関するお問い合わせ

 **0120-242751** (24時間 年中無休※)

※故障修理等の対応時間は9:00～17:00です。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

 **0120-109217** ^{トークニーナ} (9:00~21:00)

携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合

東海、北陸、近畿、中国、四国地区 06-6341-5411（通話料金がかかります）

九州地区 092-720-4862（通話料金がかかります）

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

●故障に関するお問い合わせ

 **0120-248995** ^{*1} (24時間 年中無休 ^{*2})

※1 携帯電話・PHSからもご利用になれます。

※2 故障修理等の対応時間は9:00～17:00です。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。(2007年12月現在)

©2007 NTT EAST・NTT WEST

本2601-4 (2007.12)

WBC V110トリセツ

3PP1158-5569P003 Rev1.0